

被災時にも『食べる』の連携で健康を保とう！

2026年5月18日(月) 19:30~20:30(うち45分?)

佐世保市歯科医師会館 3階講堂

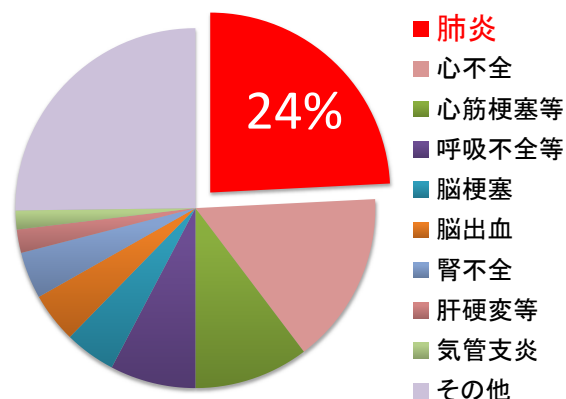
東北大学 大学院歯学研究科 災害・環境歯学研究センター 特任講師
東京科学大学 大学院 救急災害医学分野・歯科公衆衛生学分野 非常勤講師
岩手医科大学 歯学部・長崎大学 歯学部・日本大学松戸歯学部 非常勤講師
日本災害時公衆衛生歯科研究会 世話人

中久木 康一
nakakuki@biglobe.jp

被災時にも『食べる』の連携で健康を保とう！

- 災害時関連死とは？
- 災害時の歯科保健医療活動
- 連携における課題
- 地域における「食べる」支援のBCP

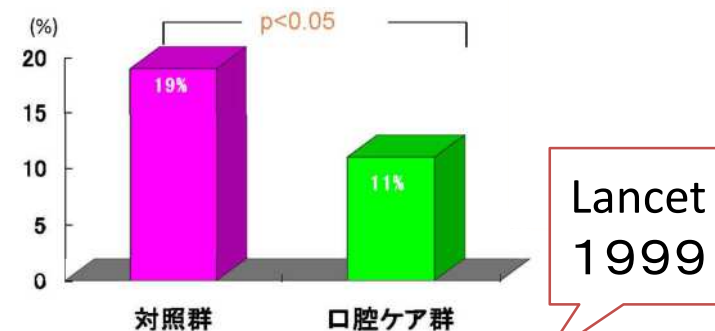
阪神・淡路大震災における災害関連死



災害関連死: 921
全犠牲者数: 6402
神戸新聞, 2004.5.14

口腔ケアにより特別養護老人ホームにおける肺炎の発症率が低下した

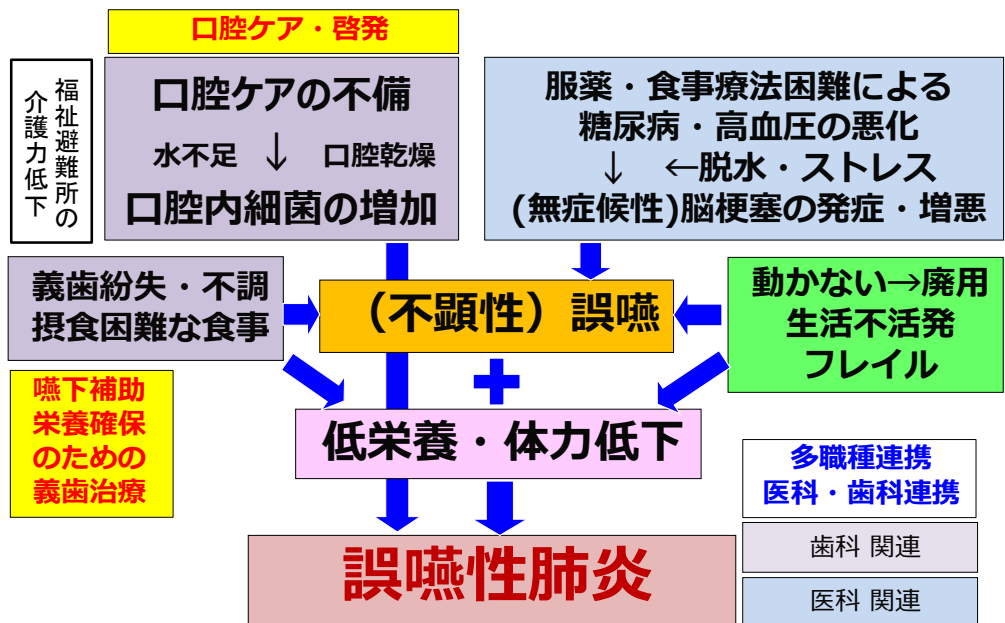
2年間の肺炎発症率



Yoneyama T, Yoshida Y, Matsui T, Sasaki H: Lancet 354(9177), 515, 1999.

➡ 特に高齢者や障害者などの要支援者に対して、口腔ケアが提供されるようになった

災害時肺炎の成因

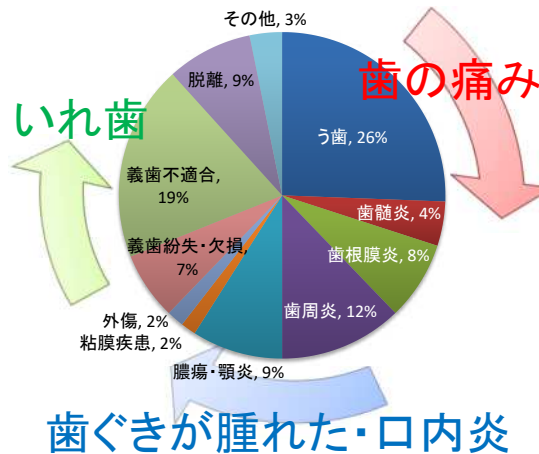


足立了平, 災害歯科医学(医歯薬出版)第3刷 より改変追記

阪神・淡路大震災

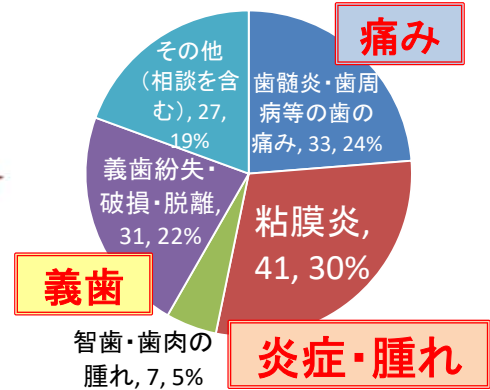
避難所巡回診療における
応急歯科診療

巡回診療における病名分類 **1995 1/21-3/31**
総数: 1764人(1925件)



歯科保健医療支援活動の需要
初期(4~5日目)の調査(139名)

避難場所: 神戸市東灘区8か所 大阪歯科大学 西川ら
避難人口: 延べ15,630人 4~5日目(1/21~1/22) n=139



出典: 阪神・淡路大震災と歯科医療(兵庫県病院歯科医会)

震災関連死因、呼吸器・循環器系疾患が5割超

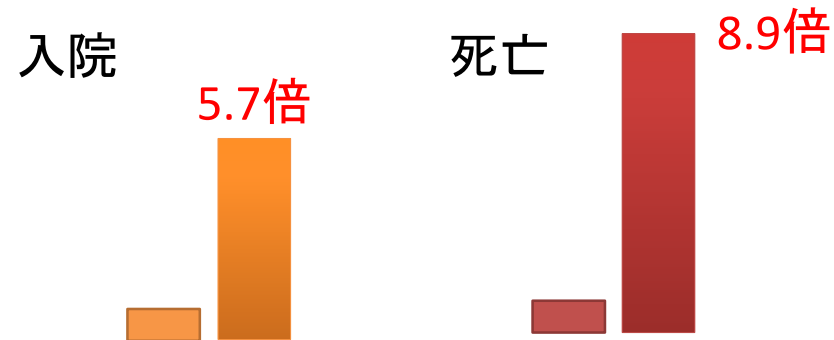
2017/9/26 21:55 熊本日日新聞

分類	人数	割合(%)
呼吸器系の疾患 (肺炎、気管支炎など)	53	28.0
循環器系の疾患 (心筋梗塞、くも膜下出血など)	50	26.5
内因性の急死、突然死	28	14.8
自殺	16	8.5
感染症(敗血症など)	14	7.4
腎尿路生殖器系疾患 (腎不全など)	6	3.2
消化器系疾患(肝不全など)	3	1.6
その他(アナフィラキシー ショック、出血性ショックなど)	19	10.0
合計	189	100.0

震災関連死189人の主な死因
(8月末現在、県中間まとめ)

肺炎の発生率は、3カ月間有意に増加

最大の増加を示したのは震災後2週間



- 90%は65歳以上の高齢者
- 避難所・介護施設からの入院患者数が多かった
- 死亡率は、介護施設からの入院は45%!

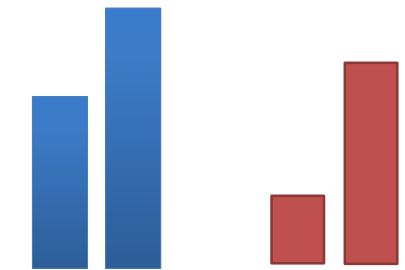
地震は肺炎による死亡のリスクを増加させる 津波はそのリスクをさらに増加させる

Shibata Y, Ojima T, Tomata Y, et al. Characteristics of pneumonia deaths after an earthquake and tsunami: an ecological study of 5.7 million participants in 131 municipalities, Japan. BMJ Open. 2016 Feb 23;6(2):e009190

- ・ 岩手・宮城・福島県の全131自治体における2010-2012の住民調査を使用
- ・ 岩手・宮城・福島県における肺炎による死亡数は地震後3県において増加

前後1年の肺炎死数

内陸93自治体 100未満が120へ
沿岸38自治体 50未満が90へ



- ・ 1年後の肺炎による死亡数は、1年前のものに比べて1.14倍

標準化死亡比

- ・ 第1週目から第12週目にかけて、有意に増加。2週目から4週目は、沿岸部自治体において2倍に近く高かった。
- ・ 2週目における標準化死亡比は沿岸部自治体2.49 (95% CI 2.02 to 7.64)、内陸部自治体1.48 (95% CI 1.24 to 2.61),であった。沿岸部自治体の標準化死亡比は内陸部よりも高かった。

災害後の体調不良

呼吸器感染症、
胃腸炎等の
急性疾患
(発災～1ヶ月)

時間が経っても
じわじわ増え続ける

直後に多い！
だんだん減ってくる

高血圧、腰痛、
皮膚炎、不眠症等の
慢性疾患
(発災後1ヶ月～)

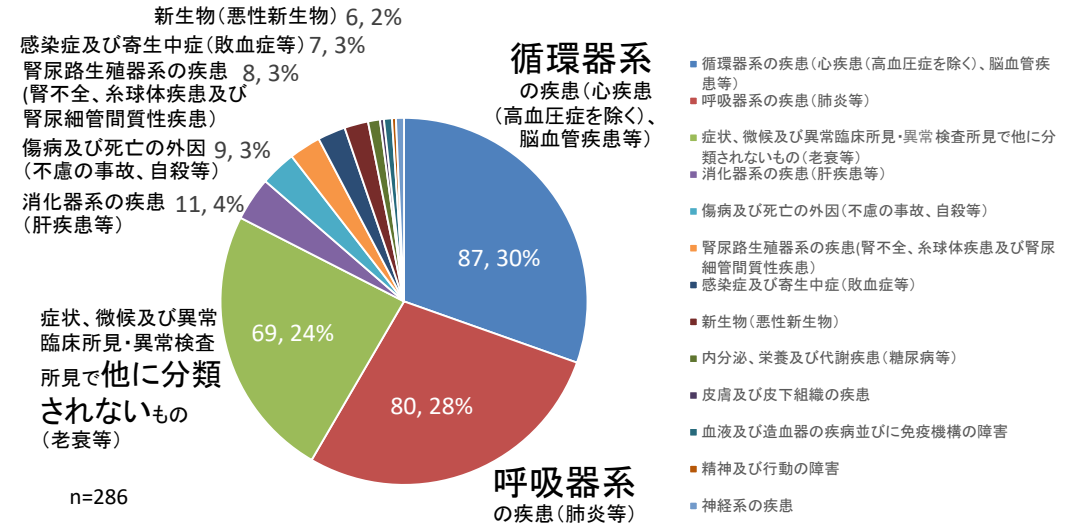
呼吸器疾患＝災害関連死の30%

1995 阪神淡路 大震災	2004 新潟県 中越地震	2011 東日本 大震災	2016 熊本地震	2024 能登半島 地震
33.6%	23.1%	31.3%	28.4%	28.0%
310 / 922	12 / 52	86 / 275	56 / 197	80 / 286
2004年4月14日 神戸新聞	2009年10月21日 消防庁	2021年3月13日 河北新報、帝京大学 (石巻市)	2017年12月末 熊本県	2026年1月 内閣府政策統括官 (防災担当)付避難 支援担当参事官室

災害関連疾病の予防を目的とした災害時
要配慮者等に対する健康支援活動が重要

令和6年能登半島地震の災害関連死の死因

(第34回災害弔慰金等認定審査会(市町村合同開催、令7年10月22日)までに認定された286件)



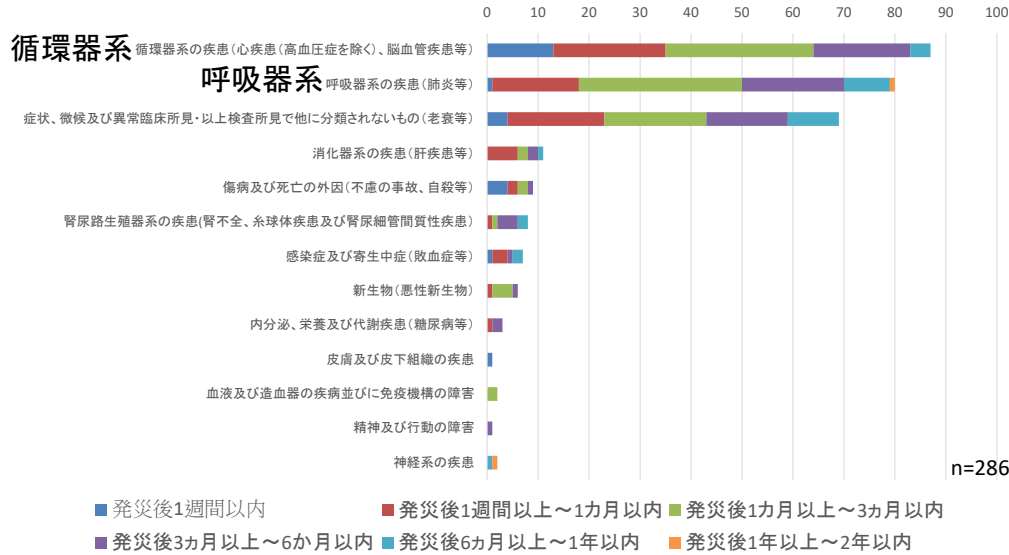
令和6年能登半島地震において災害関連死として認定された事例及び認定されなかった事例
(災害関連死事例集)(令和8年1月)

<https://www.bousai.go.jp/taisaku/hisaisyagyousei/kanrenshijirei.html>

より作図

令和6年能登半島地震の災害関連死数(死因・時期別)

(第34回災害弔慰金等認定審査会(市町村合同開催, 令7年10月22日)までに認定された286件)



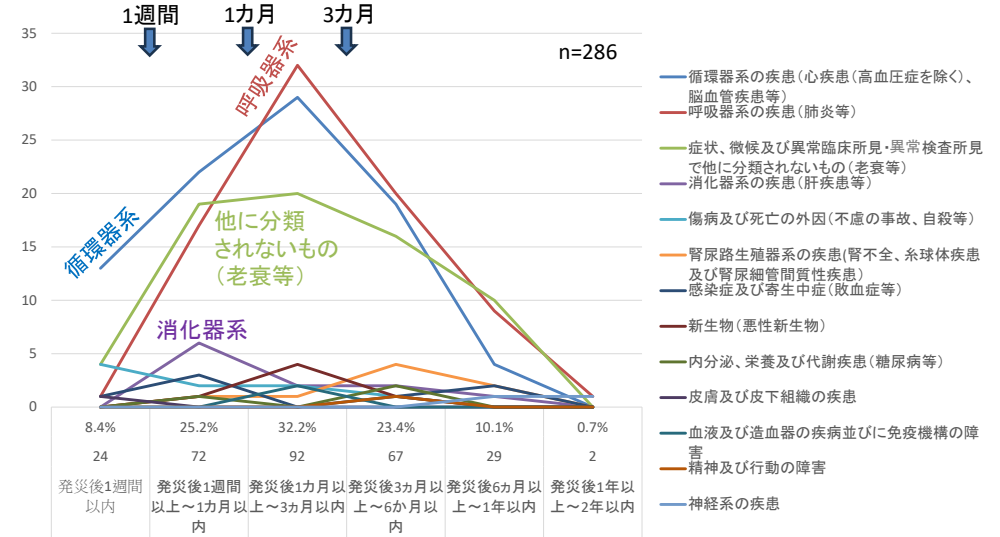
令和6年能登半島地震において災害関連死として認定された事例及び認定されなかった事例(災害関連死事例集)(令和8年1月)

より作図

<https://www.bousai.go.jp/taisaku/hisaisyagyousei/kanrenshijirei.html>

令和6年能登半島地震の災害関連死数(死因・時期別)

(第34回災害弔慰金等認定審査会(市町村合同開催, 令7年10月22日)までに認定された286件)



令和6年能登半島地震において災害関連死として認定された事例及び認定されなかった事例(災害関連死事例集)(令和8年1月)

より作図

<https://www.bousai.go.jp/taisaku/hisaisyagyousei/kanrenshijirei.html>

直接死 < 災害関連死

2004年 新潟県中越地震

直接死 16人 < 災害関連死 52人

2016年 平成28年熊本地震

直接死 50人 < 災害関連死 223人

2024年 令和6年能登半島地震

直接死 228人 < 災害関連死 507人

(2026年5月12日現在)

災害時要配慮者(要援護者)

平成25年6月 災害対策基本法改正

災害時要配慮者

防災施策において特に配慮を要する方(要配慮者)

高齢者・有病者
身体・知的・精神障害者
乳幼児・妊産婦
外国人
旅行者
等

避難行動要支援者

災害発生時の避難等に
特に支援を要する方
避難行動要支援者名簿の
作成を義務付け

令和3年5月 災害対策基本法改正

個別避難計画の作成努力義務

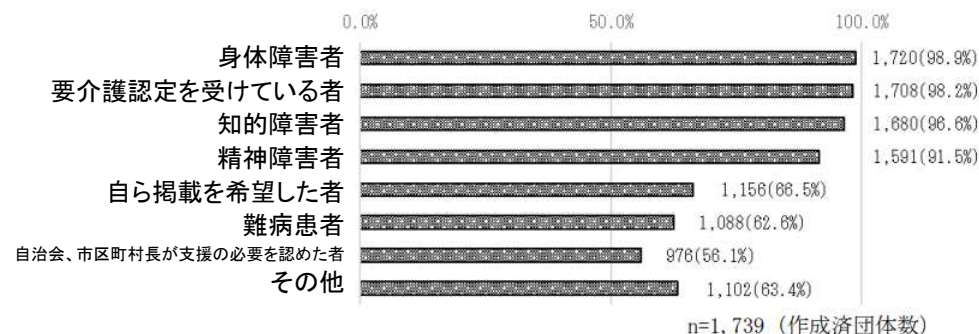
被害想定報道だけを見ては わからない

「首都圏直下地震」被害想定(東京都, 2022年5月25日)

- 最大建物被害約19万4400棟、避難者約299万人、死者6148人
- この10年で、建築物の耐震・耐火が進み、被害は軽減

『地震直後には停電で人工呼吸器などが停止し死亡するおそれがあるほか、数日後からは車中泊によるエコノミークラス症候群などによる死亡が、そして、1か月以上あとには、慣れない環境での心や体の不調による自殺なども想定される』

地域防災計画に定める 避難行動要支援者名簿掲載者の範囲

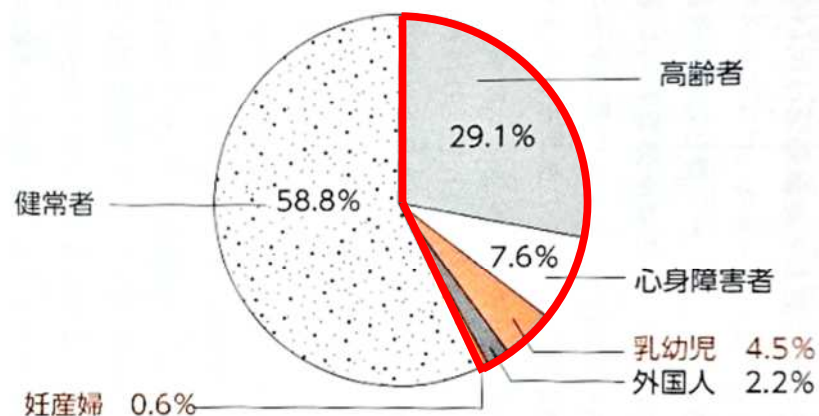


避難行動要支援者名簿及び個別避難計画の作成等に係る取組状況の調査結果, 令和4年6月28日
https://www.soumu.go.jp/main_content/000822486.pdf

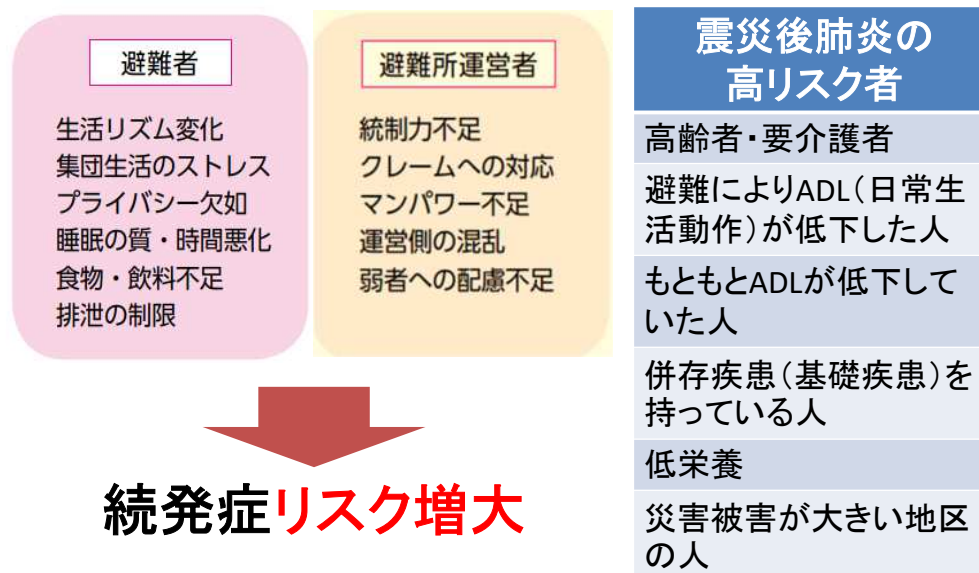
避難行動要支援者 < 避難生活要支援者

災害時要配慮者 = 人口の4割

図1 全人口における災害時要配慮者割合³⁾

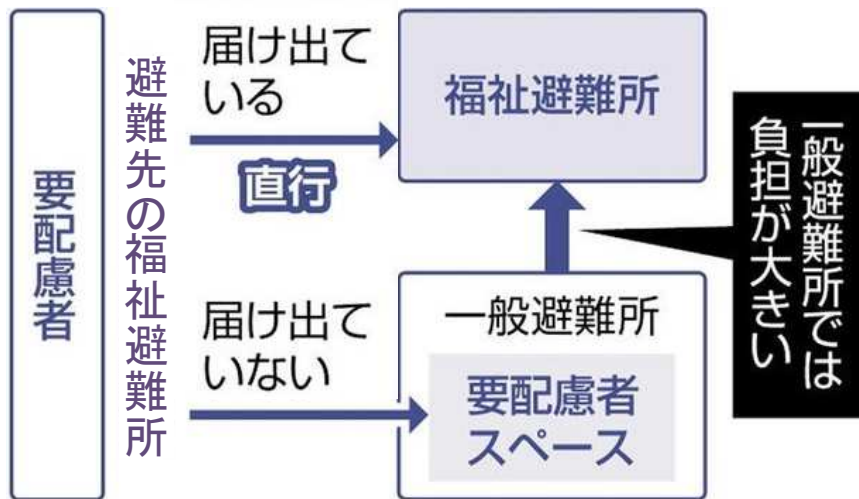


許容量を超えた避難所で予想される事態



福祉避難所

個別避難計画 → 2021年5月の災害対策基本法改正により
市区町村の努力義務に



福祉避難所 直行可能に、読売新聞オンライン 福井、2023/03/15 05:00

命つなぐ「福祉避難所」の運営は厳しい 断水や人出不足が影響

NHK 金沢放送局 石川 NEWS WEB 2024年02月11日 18時23分

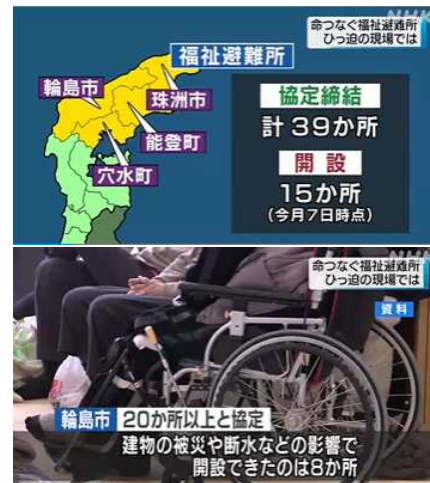
災害時に支援が必要な高齢者や障害のある人などが身を寄せるのが「福祉避難所」です。

輪島市と珠洲市、それに能登町、穴水町の4つの市と町では、地震の前から、高齢者施設や障害者支援施設などあわせて39か所の施設と協定を結び、福祉避難所に指定していました。

NHKが取材したところ、2月7日時点で開設できたのは15か所と4割に届いていません。

このうち、甚大な被害を受けた輪島市では、福祉避難所として老人ホームなど20か所以上と協定を結んでいましたが、建物の被災や断水などの影響で、市内で開設できたのは8か所にとどまっています。

さらにその中には、職員の離職が続き、深刻な人手不足で事実上、運営できなくなっているケースもありました。



<https://www3.nhk.or.jp/news/kanazawa/20240211/3020018975.html>

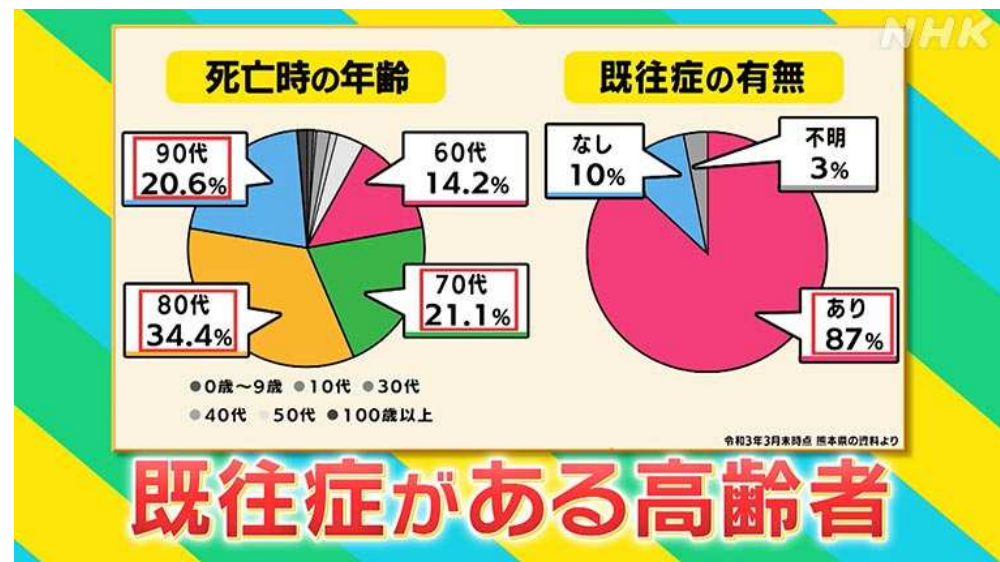
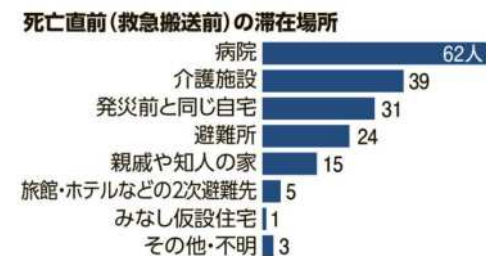
能登半島地震の関連死、9割が発災3カ月以内 介護施設で起きたこと

朝日新聞デジタル 赤田康和2024年12月22日 6時00分

能登半島地震の災害関連死をめぐり、朝日新聞が石川、富山、新潟3県の被災14市町にアンケートしたところ、発災から3カ月以内の死亡が160人に上り、全体の約9割を占めた。死亡直前の滞り場所は病院に次いで、介護施設が2番目に多かった。



能登半島地震の関連死は12月17日現在247人で、直接死(228人)を上回っている。アンケートは10月末までの審査で認定された218人を対象とした。14市町は関連死の死亡時期など詳細を公表してこなかったが、13市町が質問の一部またはすべてに回答を寄せた。

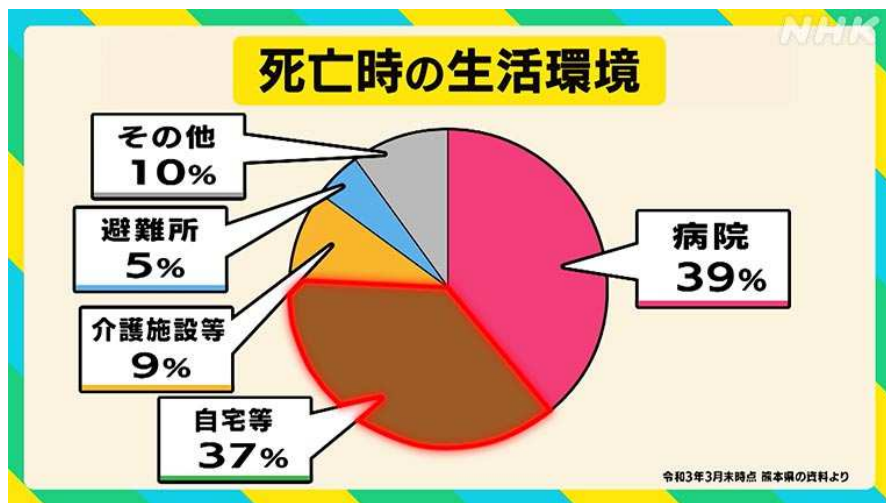


既往症がある高齢者

一方、亡くなったのは、多くが70代以上の既往症のある高齢者。その4割近くが自宅で亡くなっていました。医療支援の手が届かなかったと考えられています。「精神的ストレスとか肉体的ストレスで体調を悪くされて、元々の病気が悪くなって、それが誘因となって死につながった可能性があります」(医師・笠岡さん)

<https://www.nhk.or.jp/bousai/articles/28182/>

熊本地震8年 経験を未来につなぐ、NHK 2024年4月11日

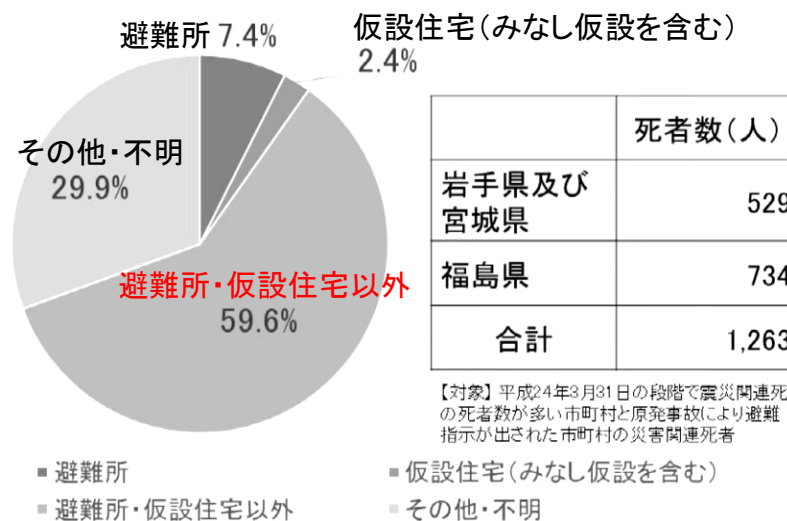


「規則正しい生活、平時に近い生活を行うことが、健康障害を防止するためには重要。もともと治療を受けていた病気の薬など中断しないように継続が必要。また、在宅避難の状況というのは把握しづらい。体調が悪くなったら早めに病院を受診したり保健師に相談したりしていただきたい」(笠岡さん)

<https://www.nhk.or.jp/bousai/articles/28182/>

熊本地震8年 経験を未来につなぐ, NHK 2024年4月11日

東日本大震災における災害関連死者の死亡時における生活環境



復興庁: 東日本大震災における災害関連死に関する報告, 平成24年8月21日

災害関連死の理由

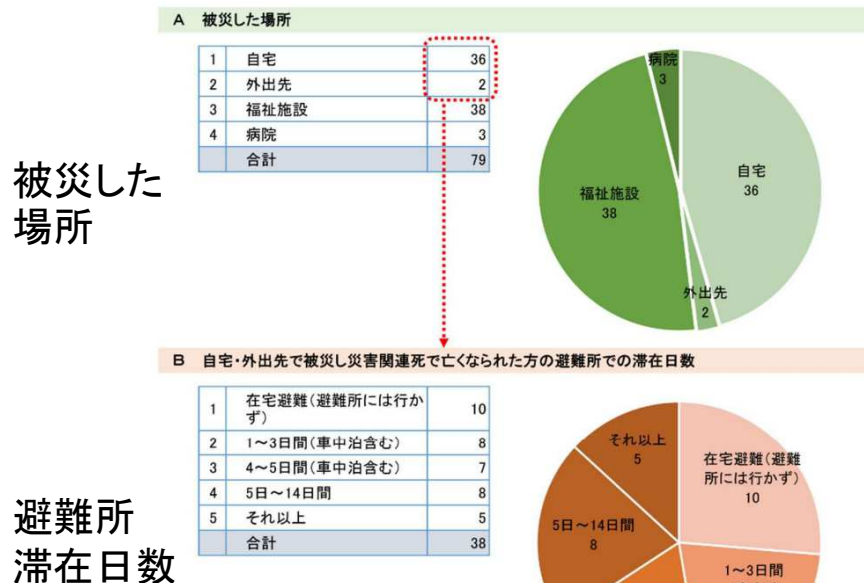
認定の主な事例

- ・ 自宅で被災し、ライフラインの途絶等の生活環境の変化により心身に相当の負荷が生じ亡くなった
- ・ 病院や施設で被災し、生活環境の変化や移動、転院等により体力が低下し亡くなった

・ 認定された79事例の、性別、既往症の有無、亡くなられた年齢、亡くなられた時期、亡くなられた時の周辺環境、亡くなられた理由とされたこと等の内訳は次頁のとおり。(死亡の経過は資料編Ⅲ-95参照)

・ 災害関連死認定された方(79人)のうち、約半数(38人)が自宅や外出先で被災されており、そのうち10人は、自宅で避難生活を継続され、このほか9人も一度避難所へ避難したあと、自宅へ戻って避難生活をされていた。建物被害や断水等の影響で、震災前の生活環境とは異なる環境で過ごさざるを得なかった。

【集計結果】能登町における災害関連死にかかるデータ



【集計結果】能登町における災害関連死にかかるデータ

D 自宅・外出先で被災し亡くなられた方の死亡直前の主な滞在場所

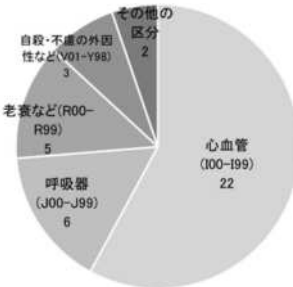
1	自宅	15
2	近隣の親類	6
3	遠方の親類	1
4	1次避難所	5
5	広域避難所	2
6	福祉施設	5
7	病院	3
8	その他	1
		38



死亡直前
滞在場所

D-2 死亡の原因【(ICD-10)の区分】

1	心血管(100-199)	22
2	呼吸器(J00-J99)	6
3	老衰など(R00-R99)	5
4	自殺・不慮の外国性など(V01-Y98)	3
5	その他の区分	2
		38



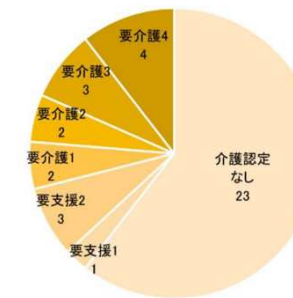
死亡原因

令和6年能登半島地震・奥能登豪雨 災害対応の記録とその検証(令和8年3月, 石川県能登町) I - 194-196
<https://www.town.noto.lg.jp/kakuka/1011/gyomu/25/7/5233.html>

【集計結果】能登町における災害関連死にかかるデータ

E-2 介護認定の状況【自宅・外出先で被災】

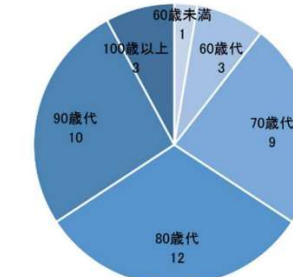
1	介護認定なし	23
2	要支援1	1
4	要支援2	3
5	要介護1	2
6	要介護2	2
7	要介護3	3
8	要介護4	4
8	要介護5	0
		38



介護認定
の状況

F 自宅・外出先で被災し災害関連死で亡くなられた方の年齢

1	60歳未満	1
2	60歳代	3
3	70歳代	9
4	80歳代	12
5	90歳代	10
6	100歳以上	3
		38



年齢

令和6年能登半島地震・奥能登豪雨 災害対応の記録とその検証(令和8年3月, 石川県能登町) I - 194-196
<https://www.town.noto.lg.jp/kakuka/1011/gyomu/25/7/5233.html>

【集計結果】能登町における災害関連死にかかるデータ

F-1 亡くなられた方の家族構成

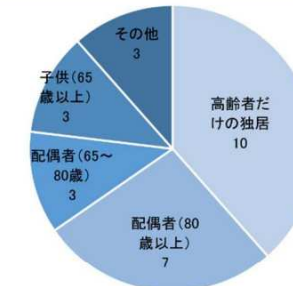
1	独居	10
2	2人暮らし	16
3	3人暮らし	7
4	4人以上家族	5
		38



家族構成

F-2 亡くなられた方の同居者の年齢(独居・2人暮らしの場合)

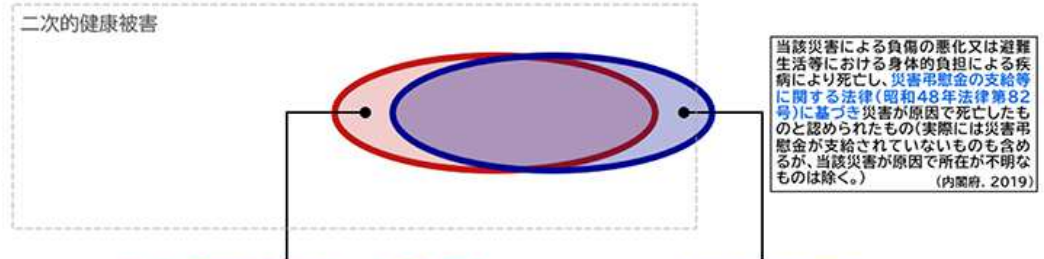
1	高齢者だけの独居	10
2	配偶者(80歳以上)	7
3	配偶者(65~80歳)	3
4	子供(65歳以上)	3
5	その他	3
		26



同居者の
年齢

令和6年能登半島地震・奥能登豪雨 災害対応の記録とその検証(令和8年3月, 石川県能登町) I - 194-196
<https://www.town.noto.lg.jp/kakuka/1011/gyomu/25/7/5233.html>

「災害後の二次的健康被害による死亡」と「災害関連死」の"ずれ"



二次的健康被害による死亡

- 二次的健康被害による死亡を減らす為には、リスクの科学的検証が不可欠であるが、疫学的定義に基づいた検証可能なデータ基盤は、現時点では十分に整備されていない

災害関連死(弔意を含む)

- 弔慰金制度に基づいた災害関連死の定義と医学的妥当性の課題
- 遺族申請に依存した認定制度
- 自治体間で異なる申請書類と基準

現時点で、二次的健康被害による死亡の検証は「災害関連死」の枠組みに依存している

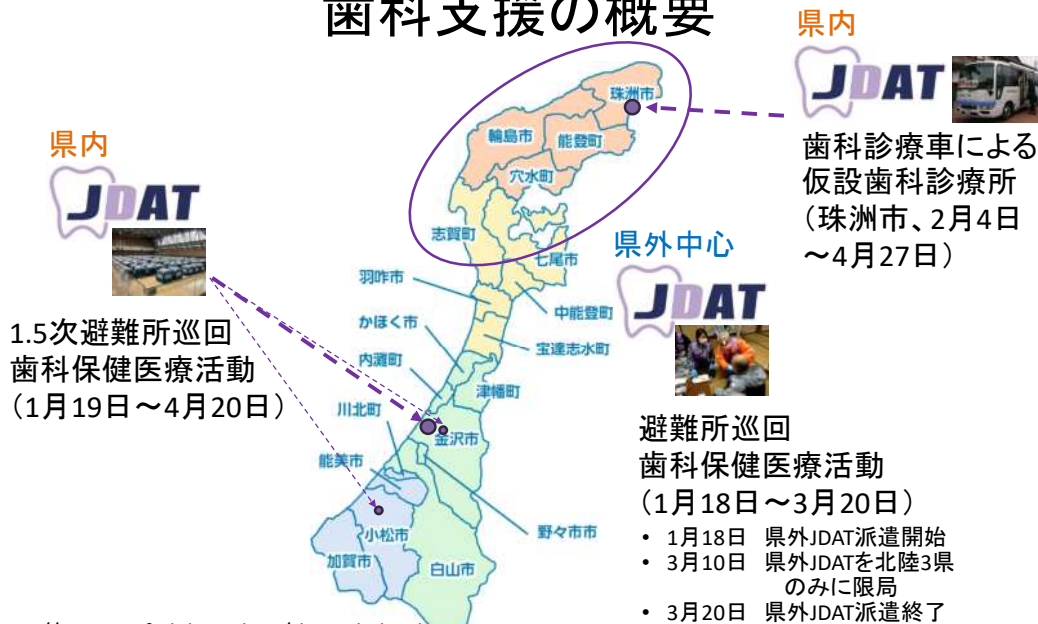
→ 「災害関連後遺症」?

- 「災害関連死」は、あくまでも「弔慰金給付制度で使用される市町村行政上の認定」であり、臨床的死因や「社会的死」という概念とは異なる。
- 災害後の中長期的な健康悪化を「災害関連後遺症」と定義付け(福島医大医学部放射線健康管理学講座など)
- 今後、医学的な認定基準などの制度構築に向けた共同研究体を設立予定

被災時にも『食べる』の連携で健康を保とう!

- 災害時関連死とは?
- 災害時の歯科保健医療活動
- 連携における課題
- 地域における「食べる」支援のBCP

令和6年能登半島地震における 歯科支援の概要



- JDAT (日本災害歯科支援チーム)は、歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士などによるチームです。
- 避難所や高齢者施設等において、応急歯科治療や口腔衛生の確保・口腔機能の維持をサポートします。



歯科相談 応急歯科治療

近隣の歯科診療所が再開するまでの間、痛みをとる、食べやすくする、などの応急治療を行います。

- 歯が痛い、口内炎ができた
- 入れ歯が痛い、ゆるい
- 歯の詰め物がとれた
- 食事が食べにくい、むせる



歯科保健活動

歯や口のお困りごとを確認し、災害時の生活における工夫の仕方をおひとりおひとりの状態にあわせてご紹介・ご説明し、必要な歯みがき用品をご提供します。災害時のお口のケアが、肺炎などのからだの病気を予防することなども、あわせてお伝えします。

- お水が少ない時の歯みがきの工夫
- お口が乾きやすい時のマッサージ方法



【集団】 お口の健康づくり

皆さんがお集まりの場所で、歯や口からの健康の保ち方をご説明したり、お口の体操をしたりします。

- お口の体操
- 歯や口と健康 講和



地域の歯科医療 提供体制の再構築

地域の歯科診療所の再開状況にあわせて、治療が必要な方を診療所に繋ぎます。

これらの支援を通じて、被災した地域が日常を取り戻すためのお手伝いをさせていただきます。歯や口に関することで、お困りのことやご希望がありましたら、遠慮なくご相談ください。歯みがき用品の提供を含め、全て無料です。

<連絡先> **歯科医師会 ***-***-***



県外からのJDATの派遣

派遣チーム(計128チーム)



- 1月18日 県外JDAT派遣開始
- 3月10日 北陸3県のみに限局
- 3月20日 県外JDAT派遣終了

以降は石川県歯による歯科診療車による仮設診療所(珠洲市、~4月27日)、および1.5次避難所対応(~4月20日)

1月13日「石川県知事→厚生労働省→日本歯科医師会」要請

令和6年能登半島地震 JDAT活動(珠洲市)



避難所の生活

衛生環境の確認

2024/1/23



避難所の歯科

口腔衛生用品の確認と

整理・補充

2024/1/23

令和6年能登半島地震 JDAT活動(珠洲市) 2024/1/23



避難所における歯科保健活動



避難所における応急歯科診療



石川県歯科医師会の災害歯科支援チーム「石川県JDAT」は、2月5日より福井県歯科医師会の協力を得て、珠洲市道の駅すずなりに「臨時歯科診療所すずなり」を開設しました。これは福井県歯が所有している移動式の歯科検診車の提供を受け、それを臨時診療所として設置したものです。

2月10日までは福井県JDATに診療を行っていたが、2月11日からは石川県JDATが引き継いで診療を行っています。石川県JDATの診療体制は、県歯会員、および石川県口腔保健医療センターの他、金沢大学、金沢医科大学、金沢医療センター、能登総合病院からご協力により、整えており、2月5日から2月11日まで118名が受診されました。

診療内容は、補綴物脱離、義歯破折への対応が多く、炎症性疾患への対応や、根管治療、抜歯、充填処置なども実施しています。





石川県JDATの「臨時歯科診療所すずなり」における2月の活動報告です。
既報の通り2月5日より福井県歯科医師会が所有する移動式の歯科検診車の貸与を受けて「道の駅すずなり」に臨時の歯科診療所として活動しております。

石川県JDATの「臨時歯科診療所すずなり」における3月の活動報告です。
既報の通り2月5日より福井県歯科医師会が所有する移動式の歯科検診車の貸与を受けて「道の駅すずなり」に臨時の歯科診療所として活動しております。

石川県JDATの「臨時歯科診療所すずなり」における4月の活動報告です。
既報の通り2月5日より福井県歯科医師会が所有する移動式の歯科検診車の貸与を受けて「道の駅すずなり」に臨時の歯科診療所として活動しております。

2月は計22日間、40名の歯科医師および61名の歯科衛生士(いずれも延べ人数)が診療に携わり、延べ320名の患者様が受診されました。今のところ3月末まで診療を継続する予定ですが、近隣の歯科医院の診療再開状況によっては、予定変更となる場合もあります。

3月は計23日間、46名の歯科医師および31名の歯科衛生士(いずれも延べ人数)が診療に携わり、延べ368名の患者様が受診されました。今のところ4月末まで診療を継続する予定ですが、近隣の歯科医院の診療再開状況によっては、予定変更となる場合もあります。

4月は計18日間、35名の歯科医師および20名の歯科衛生士(いずれも延べ人数)が診療に携わり、延べ282名の患者様が受診されました。4月27日(土)をもって診療所は終了となりました。



令和6年能登半島地震



避難所における歯科医療救護



避難所における歯科保健活動(個別)

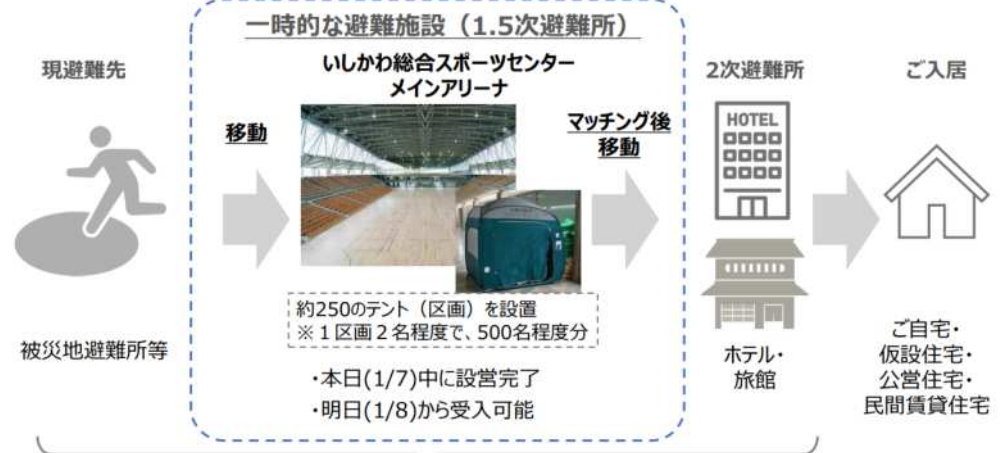


歯科診療所が再開できていない市町村における仮設歯科診療所



避難所における歯科保健活動(集団)

被災地からの避難(2次避難)について



※避難者の健康管理については、医療・福祉スタッフ(医師、看護師等)と連携して対応

被災地外への避難（2次避難）について



<被災地外の一時的な避難施設（1.5次避難所）について>

○ 本日（1/8）、いしかわ総合スポーツセンター メインアリーナに開設。

- ・避難所用テントを設置。
- ・トイレ、暖房、シャワー、電気、水などの設備あり。
- ・避難生活に必要な物資を配備。お食事も提供。
- ・看護師が常駐。（必要に応じて医師が対応。）



メインアリーナ



避難所用テント

○ 明日（1/9）13時、2次避難施設へ移動するための受付窓口を開設。

- ・2次避難施設（ホテル・旅館）とのマッチングができ次第、移動。
- ・併せて、公営住宅等への入居に関する情報提供を行う窓口も開設。



シャワー

災害対策本部員会議 第15回（1月8日）会議資料

いしかわ総合スポーツセンター（1.5次避難所） 及び産業展示館での歯科保健活動

1月19日～4月20日

曜日・時間	担当	メインアリーナ・産業展示館（ほぼ高齢者）	サブアリーナ（ほぼ自立）	マルチパーパスルーム（介護度高い人）
月曜日 12:30～	固定		（口腔ケア）	口腔ケア
火曜日	なし			
水曜日 14時～	金沢市歯	巡回	巡回	口腔ケア
木曜日 14時～	金沢市歯	巡回	巡回	口腔ケア
金曜日 12:30～	固定		（口腔ケア）	口腔ケア
土曜日 14時～	金沢市歯+口腔保健センター	巡回		口腔ケア
日曜日 9:30～	金沢市歯+口腔保健センター	巡回		口腔ケア

石川県歯科医師会は県民の皆様へのお口の健康の保持、増進に役立てていただくために、様々な活動を行っております。



石川県歯科医師会
会員専用ページ

トップページ
HOME

インフォメーション
Information

石川県歯科医師会
ida

石川県歯科医療専門学校
school

口腔保健医療センター
center

トピックス

HOME > トピックス > エリア別ニュース > 災害歯科支援チームの活動「要介護高齢者エリアへの歯科保健医療支援」

災害歯科支援チームの活動「要介護高齢者エリアへの歯科保健医療支援」

投稿日：2024年1月21日 | 最終更新日時：2024年6月10日 | カテゴリー：エリア別ニュース > 活動報告

1月20日（土）、21日（日）の2日間、1.5次避難所である「いしかわ総合スポーツセンター」の要介護高齢者エリア（マルチパーパス）への歯科保健医療支援を実施しました。

そのうち、20日は石川県口腔保健医療センターより歯科衛生士2名を派遣し、入所者28名に対して口腔ケアを実施。また21日は口腔保健医療センター歯科医師2名、歯科衛生士2名、石川県歯科医師会より歯科医師2名を派遣し、入所者29名に対して口腔ケアを行いました。

同施設のサブアリーナおよびメインアリーナにおいては、エリア責任者の許可の下、「避難生活でのお口のケアのご案内」のポスターを随所に掲示し、口腔ケアの啓発を行いました。サブアリーナの責任者（DMAT医師）からは、「現在、サブアリーナでは要介護高齢者の避難者が増えている。今後はこちら側でも口腔ケアをお願いしたい。」との申し出もありました。



ポスターを掲示

インフォメーション

歯医者さん探しは
歯科navi

公財財団法人8020推進財団創立20周年記念
第18回フォーラム 8020
フォーカス！感染予防
～未来歯科医療の幕開け～

歯科衛生士
応援ひろば

歯科医療 求人情報
働いて
みませんか？

歯科医師会関連サイト
リンク集

能登半島地震 1.5次避難所歯科保健医療救護活動



令和6年1月1日16時10分には生じた能登半島地震に対して、石川県歯科医師会の役員と先生方が1月1日より正体もなくなり毎夜毎夜と歯科医師会に救済された災害対策本部に集まり被災状況の確認や会員の安全確認等、対策を練り仕事をされていると聞き驚きの念を抱きました。

石川県歯科医師会災害対策本部では石川県からの歯科医療救護隊の出発要請を受け1月7日より北沢町、中能登町、七尾市、穴水町、輪島市などの被災地にJDAT石川（石川県災害支援チーム）を派遣しました。

金沢市内の状況は、1月8日に石川県より被災者を一時に収容する1.5次避難所が金沢市の「いしかわ総合スポーツセンター」に開設され、その後1月13日には「石川県産業展示館2号館」にも新たに1.5次避難所が開設されました。

1月19日より活動を開始した歯科医師会の依頼で1月21日に金沢市歯科医師会役員4名が現場視察したうえで、歯科医師会、口腔保健医療センター、石川県歯科衛生士会と連携し週5日毎に口腔ケア等の支援を行う事となりました。

それまでの間、「早く何でもいいから役に立ちたい!」との思いがあったため、我々一同が士気旺盛にしてその依頼に応じました。

1月20日（土）第一日目のJDAT石川としての活動が、いしかわ総合スポーツセンターにおいて始まりました。当会役員から4～5名と県歯科衛生士会より衛生士2名が派遣されたチームとなり口腔内の消毒、感染対策、口腔ケア、歯科相談などを実施し、必要とされる口腔ケアグッズを渡しました。どうしても治療が必要な方には、いしかわ総合スポーツセンター近隣の歯科医院を紹介するという形をとりました。

JDAT石川チームの中には、自ら被災者であるにも関わらず参加された先生もいらっしゃり、真の下がる思いでありました。

いしかわ総合スポーツセンターの中には被災者の介護度に応じて、マルチパーパス・サブアリーナ・メインアリーナの3会場に分けられていますが、介護度が高い人が入っているマルチパーパスの方が手厚い介護を受け口腔内の状況も比較的良く保たれており、遂に比較的自立度が高い人がいるサブ

アリーナや通常の避難者がいるメインアリーナ（テレビで放映されていたテントがある会場）の方が口腔衛生状態は悪いという皮肉な状況がありました。

いしかわ総合スポーツセンターだけでは収容人数が足りず石川県産業展示館にも被災者が入る事となり、それでもなおバスから降りる被災者の方々を目にした時は「こんなに大勢の全ての人に於いて対応が出来るのだろうか?」と不安に思いました。

最初の頃は要領を掴む時間がかかりましたが、次第に慣れつつある被災者に先生にならぬ程度に世間話も交えながらの口腔ケア活動となりました。

4月20日をもって、いしかわ総合スポーツセンターでの活動は一旦終了という形にはなりましたが、今後何かの機会があれば何よりも優先して協力させて頂きたいと思っております。

最後にこの活動に御協力いただいた石川県歯科衛生士会、金沢市歯科医師会公衆衛生委員など関係者の皆様方には心より感謝申し上げます。

（傍野 孝昭 記）



報告（金歯会報第67号、2024年7月30日）

(石川県)令和6年度 被災者歯科支援事業

実施主体

- ・ 石川県が一般社団法人石川県歯科医師会に委託して実施
- ・ 県健康推進課、能登中部保健福祉センター、能登北部保健福祉センターは、事業の実施にあたり、必要に応じて協力

支援対象

- ・ 県内6市町(七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、穴水町、能登町)

事業内容

- ・ 被災市町は、支援要望書を記入し、管轄の保健福祉センターに提出
- ・ 県歯科医師会が、被災市町からの支援要望書に基づいて調整
- ・ ①仮設住宅等への個別訪問による口腔内の健康状態確認や歯科保健指導などの実施
- ・ ②仮設住宅集会所等での歯科健康相談、歯科保健指導等の実施
- ・ ③その他必要な支援(各種福祉施設への訪問による歯科保健指導等)
- ・ ④上記の①から③の支援において把握された健康課題等の被災市町への報告

令和6年度実績・令和7年度予定

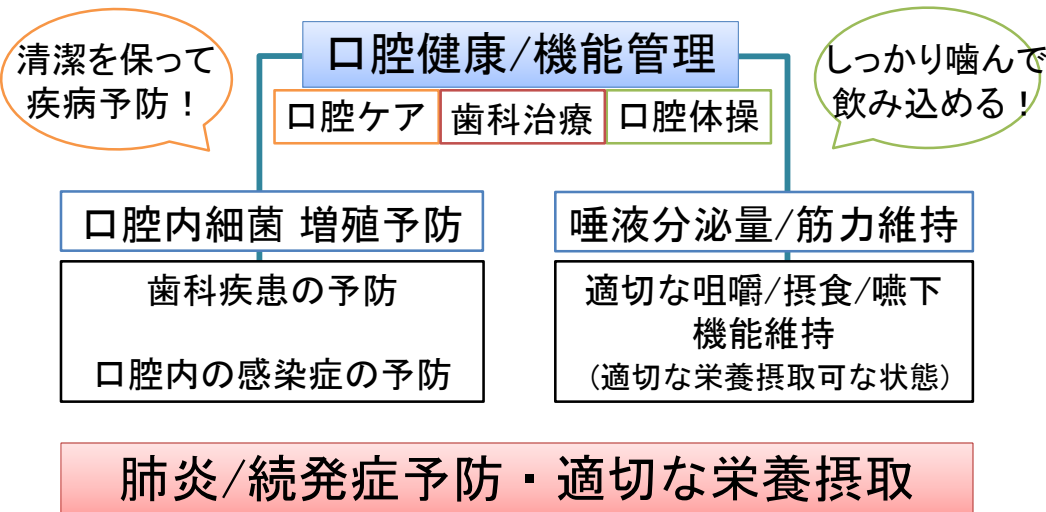
令和6年度(11月～3月)

- ・ 5市町村、24回(うち2回は施設、2回はイベント型)
- ・ 対象者計(のべ) 526名
- ・ 出務者計(のべ) 歯科医師54、歯科衛生士40、その他7

令和7年度計画

- ・ 6市町村、39回(うち2回は施設、1回はイベント型)

口腔健康管理/口腔機能管理



災害時の歯科の活動



被災時にも『食べる』の連携で健康を保とう！

- 災害時関連死とは？
- 災害時の歯科保健医療活動
- 連携における課題
- 地域における「食べる」支援のBCP

保健・医療・福祉の活動チームによる支援（主なもの）



DMAT（ディーマット：災害派遣医療チーム）
Disaster Medical Assistance Team



DPAT（ディーパット：災害派遣精神医療チーム）
Disaster Psychiatric Assistance Team

JMAT（ジェイマット：日本医師会災害医療チーム）
Japan Medical Association Team

JDAT（ジェイダット：日本災害歯科支援チーム）
Japan Dental Alliance Team

DHEAT（ディーヒート：災害時健康危機管理支援チーム※）
Disaster health emergency assistance team ※保健所等の指揮調整機能支援

DWAT（ディーワット：災害派遣福祉チーム）
Disaster Welfare Assistance Team

JRAT（ジェイラット：一般社団法人 日本災害リハビリテーション支援協会）
Japan Disaster Rehabilitation Assistance Team

JDA-DAT（ジェイディーエーダット：日本栄養士会災害支援チーム）
The Japan Dietetic Association-Disaster Assistance Team

DICT（ディーアイシーティー：災害時感染制御支援チーム）
Disaster Infection Control Team

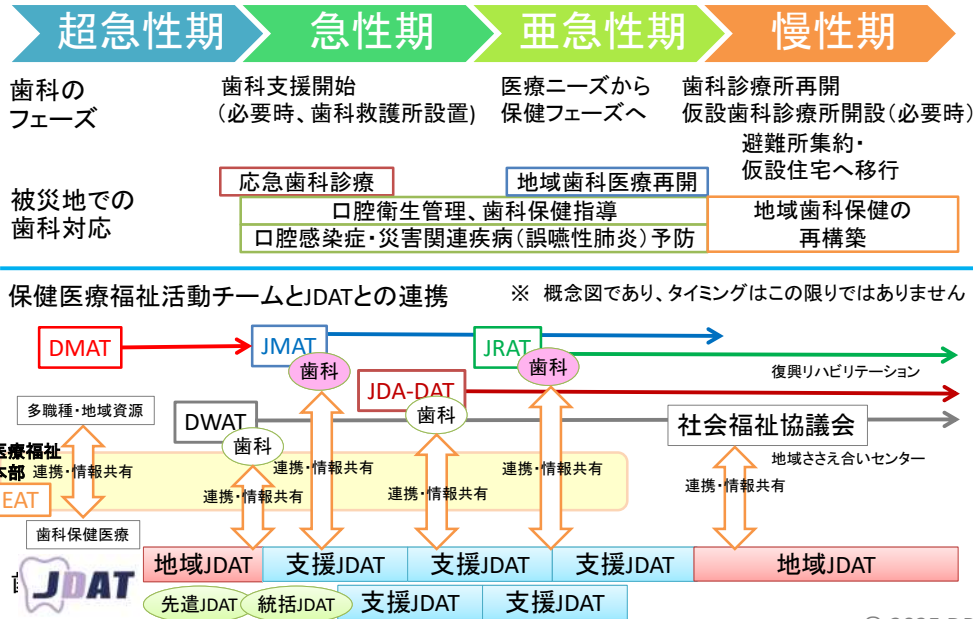
日赤救護班（日本赤十字社）

保健師等チーム（自治体職員）

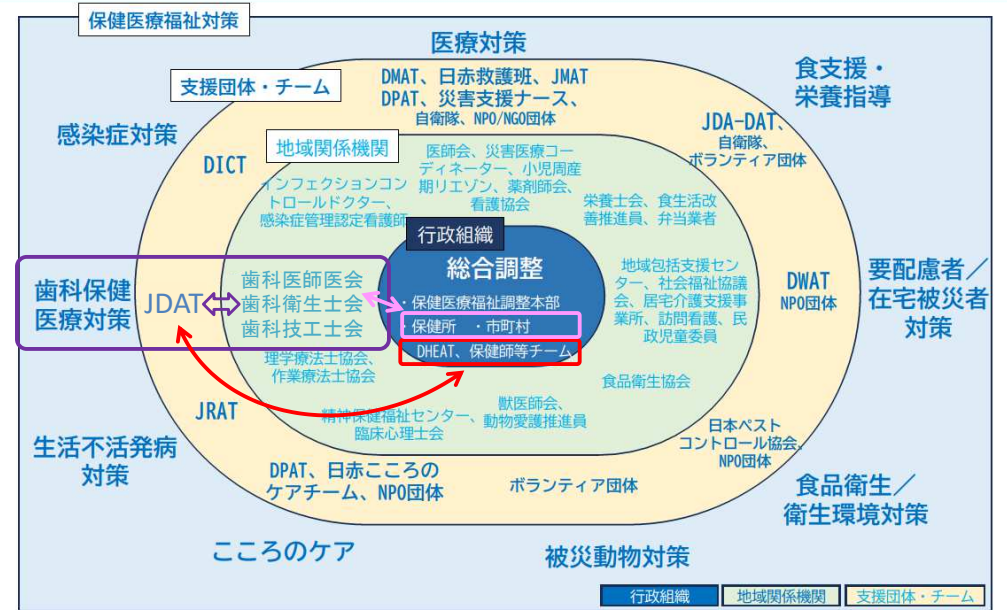
等

災害時の保健医療福祉に関する横断的な支援体制の構築について、「令和6年度健康危機における保健活動推進会議」令和7年1月21日

保健医療福祉活動チームとJDATとの連携



災害時の主な保健医療福祉活動（施策）と関係団体【例】



出典：DHEAT活動ハンドブック（第2版）（令和5年3月）67頁より引用・編集
 災害時の保健医療福祉に関する横断的な支援体制の構築について、「令和6年度健康危機における保健活動推進会議」令和7年1月21日

JDAT チーム構成・期間のイメージ

【構成(例)】

歯科診療所休診時期(活動開始時)

歯科医療救護チーム

歯科医師2、事務職1
歯科医師2、歯科衛生士1、歯科技工士1



歯科診療所再開時期



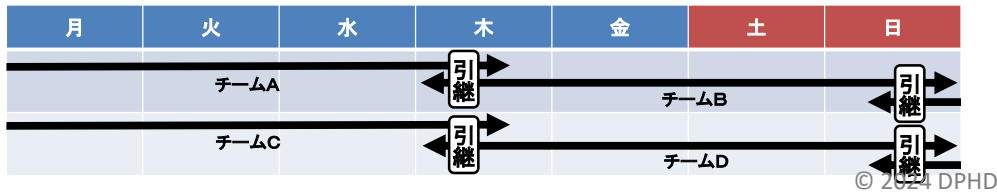
歯科保健支援チーム

歯科医師2、歯科衛生士2

歯科保健支援チーム

歯科医師1、歯科衛生士2~3

【期間(例)】 4日間程度/チーム



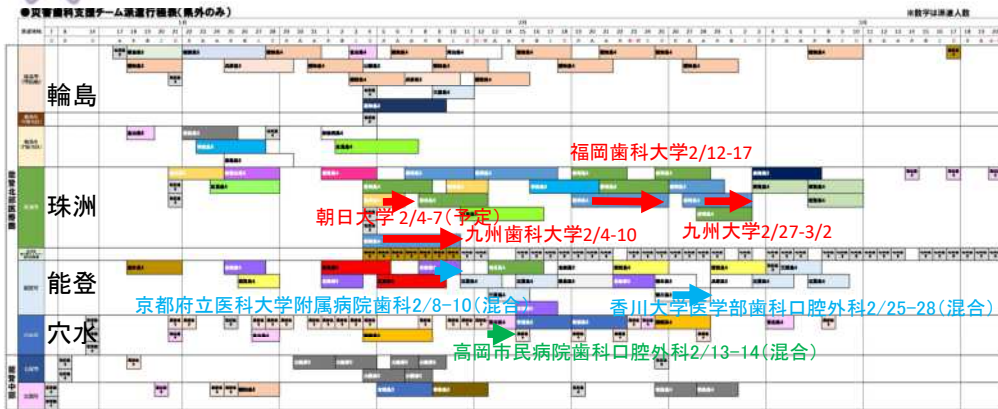
歯科における連携の課題

- 人がいない
 - 歯科が地域に少ない / 高齢化
- コーディネートできない
 - 歯科が役所に少なく担当している人が少ない
- 人を出せない
 - 大規模施設に歯科職が少ない

※ 県内JDATには県内医大歯科や病院歯科も参加



県外JDAT 派遣先別一覧



派遣元 派遣期間	チーム数 (のべ)	人数 (のべ)	職種の内訳(のべ)					派遣期間	活動期間	派遣期間 全日数	活動期間 全日数
			歯科 医師	歯科 衛生士	歯科 技工士	事務職	その他				
県内+県外 1/7~4/27	363	1,322	803	459	12	45	3				
県外のみ 1/18~3/20	127	482	273	149	12	45	3	1/18 ~3/20	1/19 ~3/20	405 (100%)	253.5 (63%)



市町村におけるJDATのコーディネート

- 市町村 災害対策本部
- 保健医療福祉調整本部
- 市町村職員 supported by 保健所/DHEAT

※ JDATは、地域に残る歯科医療職に繋ぎ、地域の歯科保健医療提供体制を再構築するための作業を実施するためのチーム

市町村の災害医療コーディネーターなどの医療職

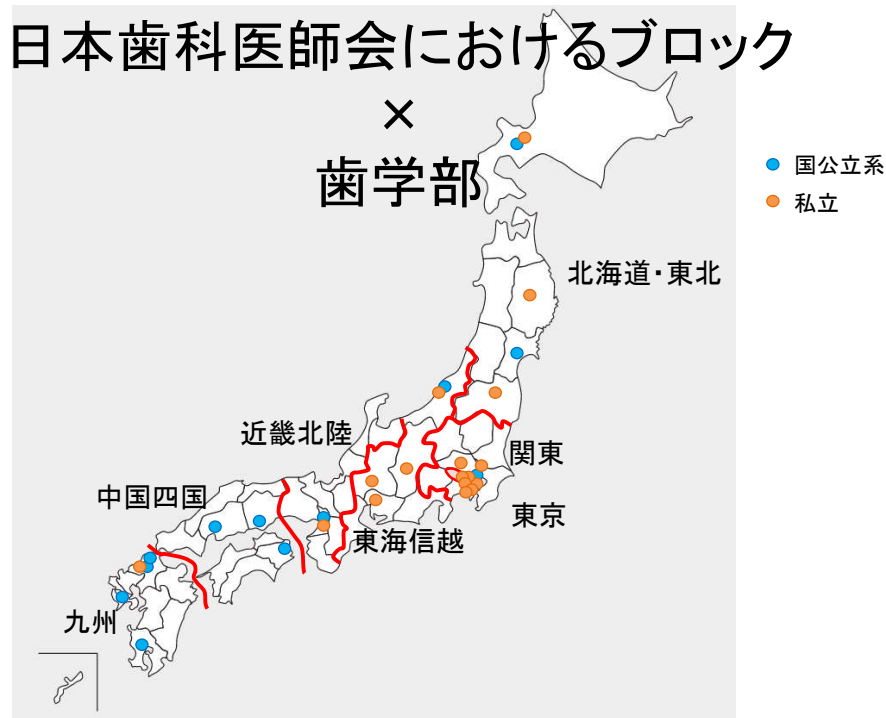
- 歯科としては地域歯科医師会の担当者？(市町村ごとに)
- 地域の病院医療職？(歯科口腔外科？耳鼻科？NST？)、在宅医療(プライマリヘルス)？、他？
- 地域の歯科職は復旧・再建しながら、情報共有と方向性の意見を

保健医療活動チーム

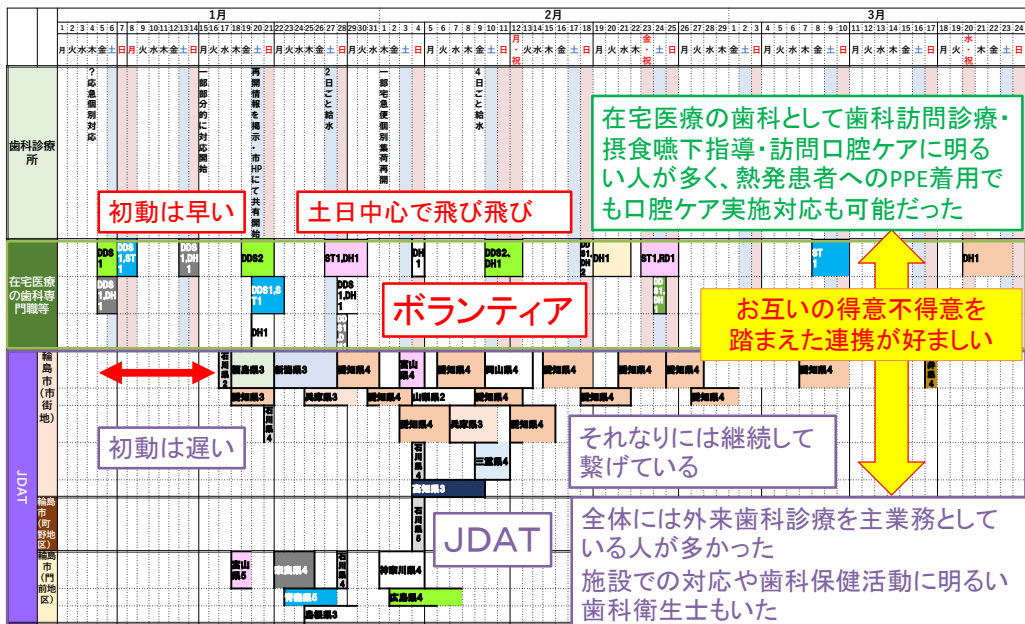
DMAT、JMAT、日赤救護班、国立病院機構、AMAT、JDAT、薬剤師チーム、看護師チーム、保健師チーム、管理栄養士チーム、JDA-DAT、DPAT、JRAT、その他

© 2024 DPHD

日本歯科医師会におけるブロック



輪島市への歯科関係の外部支援(民間・公的)の一覧



※ 2024年1~3月の、記録があるもののみ。

地元歯科医師が保健医療福祉調整会議へ参加

JDATの配備先やデータは地元歯科医師がDHEATと相談しながら継続的に管理

歯科診療所再開等に向けた調整

歯科診療所への給水手配の相談

避難所医療チームから歯科治療必要者の申し送り票

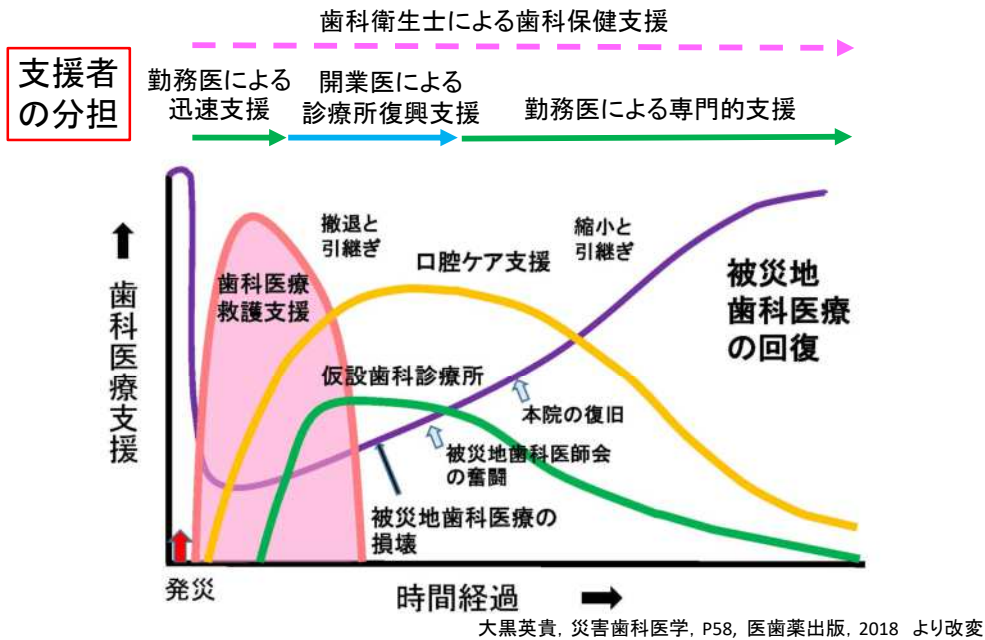
自院にてJDATと打合せ・申し送り

民間の在宅医療支援チームの一員として福祉避難所で支援活動をした歯科医師からの申し送り

歯科再開情報(市HPIにも掲載)

申し送られた方への往診(福祉避難所)

支援内容の時間経過と、支援者における分担



歯科における連携

行政歯科職 (自治体・保健所)	マネジメント [歯科医師] 配備(2014) 県型保健所3.5%、市町村0.4% [歯科衛生士] 県型保健所28.6%、市町村16.5%
歯科医師会	診療所の復旧を優先したうえで、 地域へのマネジメント
大学歯学部 (&病院歯科)	18県・29校(国立11・公立1・私立17) 迅速対応と歯科医療救護
派遣歯科専門職 & 歯科衛生士会	避難所等地域における 歯科保健医療支援活動の実働 加入率20%前後
歯科衛生士会 & 大学歯学部	中長期的対応

都道府県・市区町村における歯科口腔保健に従事している専門職の配置状況

専門職の配置状況 (平均人数)

		歯科医師		歯科衛生士		保健師		栄養士	
		常勤	(非常勤含む)	常勤	(非常勤含む)	常勤	(非常勤含む)	常勤	(非常勤含む)
都道府県	(47)	2.0	(2.0)	3.6	(3.5)	10.1	(10.1)	5.8	(5.8)
市区町村	(1385)	1.3	(2.9)	2.1	(2.9)	6.5	(6.9)	1.8	(2.0)
内訳	特別区	1.0	(1.0)	4.1	(5.5)	35.5	(37.0)	12.5	(14.0)
	保健所設置市	1.4	(2.2)	3.7	(6.0)	14.3	(14.6)	2.8	(3.6)
	その他の市部	1.3	(8.0)	1.5	(2.3)	9.2	(9.8)	2.1	(2.5)
	町村部	1.1	(1.6)	1.3	(1.6)	3.9	(4.1)	1.3	(1.4)

令和元年度委託事業(「口腔保健における予防強化推進モデル事業に係る調査研究等一式」)
 回答: 47 都道府県(回収率 100%)、1,385 市区町村(回収率 79,6%) <https://www.mhlw.go.jp/content/000740863.pdf>

都道府県・市区町村における歯科口腔保健に従事している専門職の配置状況

専門職の配置状況 (割合)

		歯科医師		歯科衛生士		保健師		栄養士	
		常勤	(非常勤含む)	常勤	(非常勤含む)	常勤	(非常勤含む)	常勤	(非常勤含む)
都道府県	(47)	78.7	(89.4)	61.7	(85.1)	44.7	(46.8)	27.7	(27.7)
市区町村	(1385)	3.2	(5.8)	19.9	(31.6)	77.3	(77.5)	42.7	(45.7)
内訳	特別区	23.8	(23.8)	100.0	(100.0)	19.0	(19.0)	9.5	(9.5)
	保健所設置市	32.9	(43.0)	77.2	(88.6)	38.0	(38.0)	21.5	(22.8)
	その他の市部	0.5	(2.3)	23.6	(42.4)	73.6	(73.8)	45.9	(48.8)
	町村部	1.6	(4.1)	7.5	(13.1)	86.9	(87.2)	43.4	(46.7)

令和元年度委託事業(「口腔保健における予防強化推進モデル事業に係る調査研究等一式」)
 回答: 47 都道府県(回収率 100%)、1,385 市区町村(回収率 79,6%) <https://www.mhlw.go.jp/content/000740863.pdf>

被災時にも『食べる』の連携で健康を保とう！

- 災害時関連死とは？
- 災害時の歯科保健医療活動
- 連携における課題
- 地域における「食べる」支援のBCP

被災者の皆さまへ 避難所生活で健康に過ごすために ～以下の点にご注意ください～

水分・塩分
補給

食中毒
注意

うがい
歯みがき

マスク着用

① 水分・塩分補給
をこまめに

トイレを気にして水を飲む量が減りがちです。こまめな水分・塩分補給で熱中症予防をしましょう。

② 手を清潔に

食事の前やトイレの後には手洗いを。泥水が使えないときは、アルコールを含んだ手指消毒薬を使用しましょう。

③ 食中毒に注意！

出された食事はすぐに食べましょう。下痢、発熱、手指に傷がある人は、調理や配食を行わないようにしましょう。

④ 体の運動

エコノミークラス症候群の予防、寝たきりの予防のためにも積極的に体を動かしましょう。

⑤ うがい・歯磨き

うがい、歯磨きをできるだけだけ行い、かぜの予防、口の中の衛生を保ちましょう。

⑥ 十分な睡眠・休息

誰もが不安を感じています。休息や睡眠を意識してとりましょう。

⑦ 必要なときはマスクを着用

咳をしているときや、アレルギーの原因となるほこりを避けるために、必要なときはマスクを使いましょう。

⑧ 薬で困っている場合は相談を

薬が手元になかったり、薬で困っているときは、医師、薬剤師、保健師などに相談を。

次の方は避難所の事務所に申し出ましょう
厚生労働省
妊婦の方
産後の方・小さいお子さまをお連れの方
マタニティマークをつけた妊婦さんにご配慮をお願いします。
病氣などで特別な食事の配慮が必要な方

手の清潔

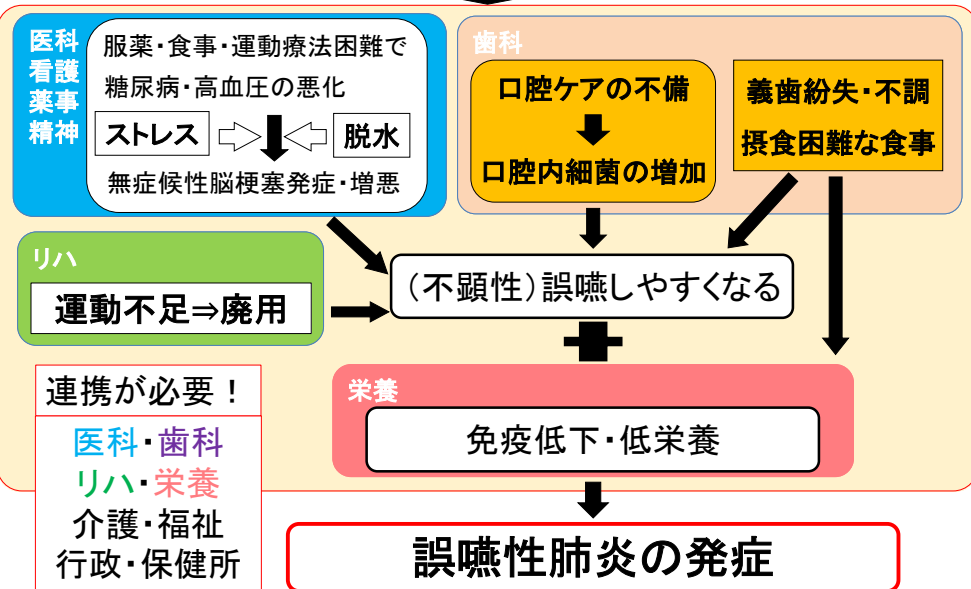
体の運動

十分な睡眠・休息

薬剤
(体調管理)

妊産婦・乳幼児
特殊食品

災害時の環境： ライフライン不備、食糧・水不足、睡眠・トイレ不足



加齢 と フレイル



足立了平, 岸本裕充, 門井謙典. 大規模災害における気道感染予防の重要性. 日本口腔感染症学会雑誌. 2012; vol. 19-1 より改変
中久木康一. 令和元年度九州地区連合歯科医師会研究事業・災害口腔医学研修会資料より

★ オーラルフレイル概念図 一般市民向け



4割は歯や口に「気になるところ」があり、
高齢者の1割以上は「噛めないものがある」

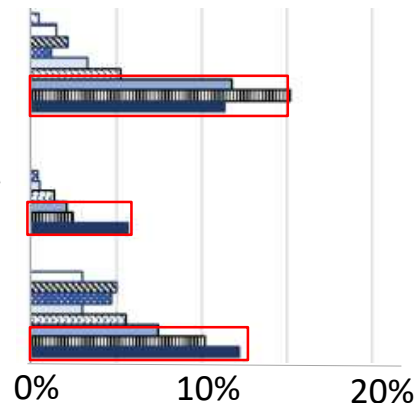


口の機能

噛めないものがある

飲み込みにくい

口がかわく



令和4年 歯科疾患実態調査結果の概要

<https://www.mhlw.go.jp/content/10804000/001112405.pdf>

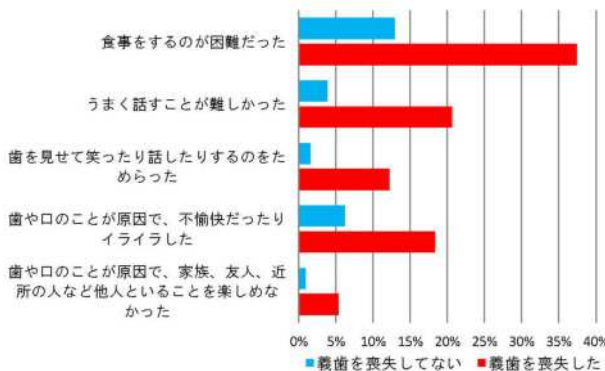
災害時の義歯喪失の食事や会話への影響

東日本大震災後の沿岸被災地域の調査において
震災前から義歯を利用していた人758人

17.3% (131人)

義歯を使用しているが喪失しなかった
82.7% (627人)

義歯を喪失した



食べられない

話せない

笑えない

イライラする

楽しめない

Yukihiro Sato et al., Impact of Loss of Removable Dentures on Oral Health after the Great East Japan Earthquake: A Retrospective Cohort Study. Journal of Prosthodontics, 2014 Sep 14. doi: 10.1111/jopr.12210.

災害時の義歯喪失の食事や会話への影響

派遣栄養士が報告した「口腔保健」問題の質的解析

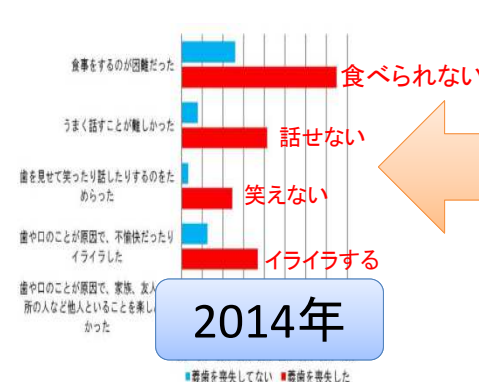
JDA-DATエビデンスチームによる東日本大震災 活動報告書分析 (発災1か月~6か月後、n=599)

東日本大震災後の沿岸被災地域の調査において
震災前から義歯を利用していた人758人

(131人) 17.3%

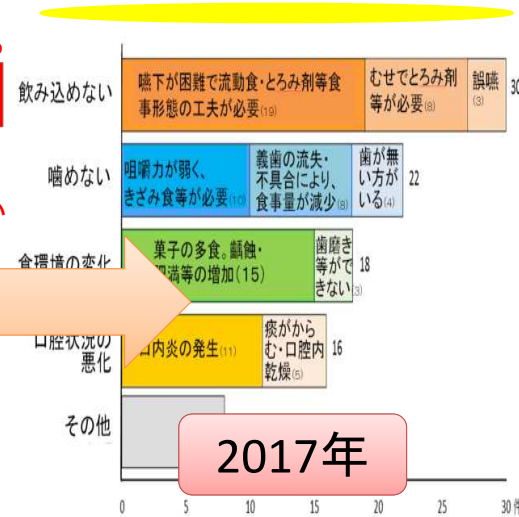
義歯を使用しているが喪失しなかった
82.7% (627人)

義歯を喪失した



2014年

Yukihiro Sato et al., Impact of Loss of Removable Dentures on Oral Health after the Great East Japan Earthquake: A Retrospective Cohort Study. Journal of Prosthodontics, 2014 Sep 14. doi: 10.1111/jopr.12210.

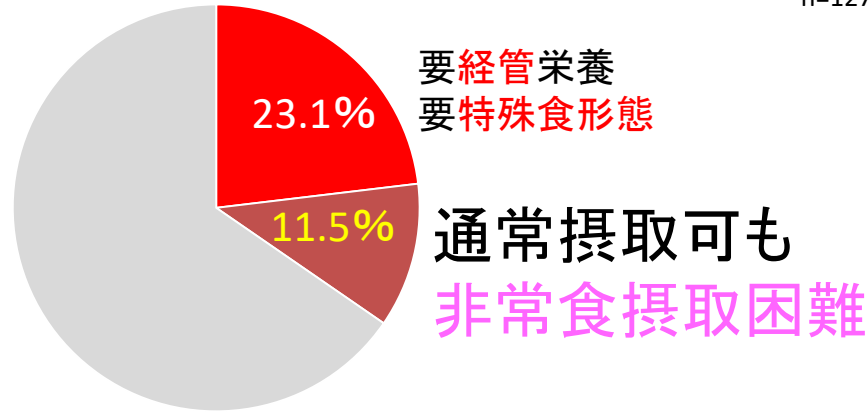


2017年

笠岡(塚山)ら, 日食養下リハ会誌21(3):191-199, 2017.

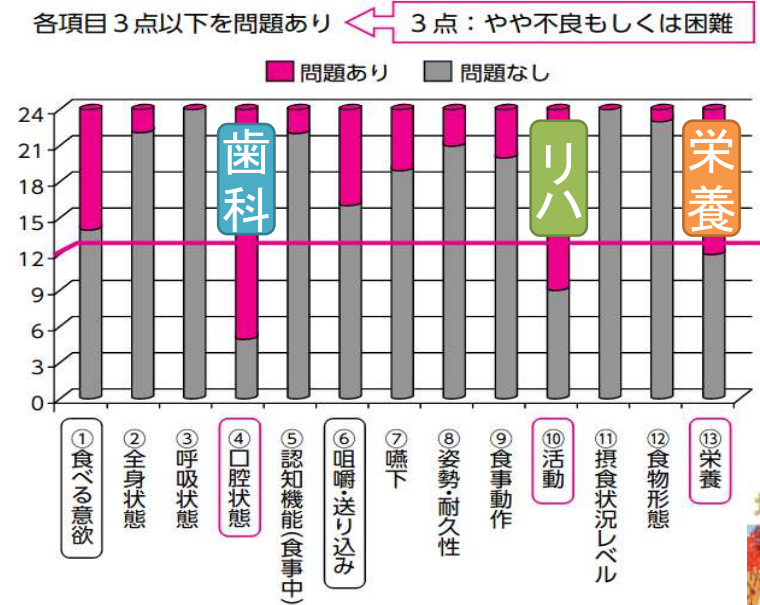
地域在住の要介護高齢者のうち、災害時に「食べる」工夫が必要な方々

新宿区の要介護高齢者
n=1271



Estimating nutrition intake status of community-dwelling elderly people requiring care in disaster settings: A preliminary cross-sectional survey.
Tashiro S, Kawakami M, Oka A, Liu F, Nishimura A, Ogawa C, Hagai F, Yamamoto S, Yazawa M, Liu M. J Rehabil Med. 2019 Mar 6.

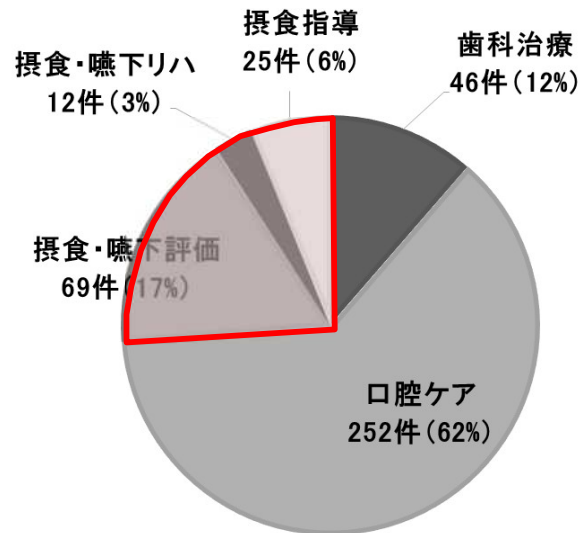
図2: 平成28年熊本地震後早期(2日~14日)におけるKT/バランスチャートを用いた評価(n=24)



小山珠美(NPO法人口から食べる幸せを守る会), 震災による避難所での二次的合併を回避するKTバランスチャートを使用した包括的支援の実際, <特集>多職種で取り組む災害時の食支援, 地域保健 2017年11月号, 第48巻6号, 東京法規出版



図3 南阿蘇地区における歯科支援活動実績



熊本地震後の南阿蘇地区において口腔機能支援を通じて多職種と連携した「食べる」支援活動の報告, 日本災害食学会誌, Vol6(2), 66-76, 2019

個別アセスメントの「評価」6つ

災害3-3 歯科保健医療 ニーズ調査・啓発・指導 実施票(個別・複数)

実施場所(施設名・建物名): _____ 実施日: ____年 ____月 ____日 No. _____

名前	年齢	性別	食事をする際の困難	歯みがきの環境問題	歯みがきをする際の困難	歯や口の清掃問題	歯科治療の必要性	評価結果	備考

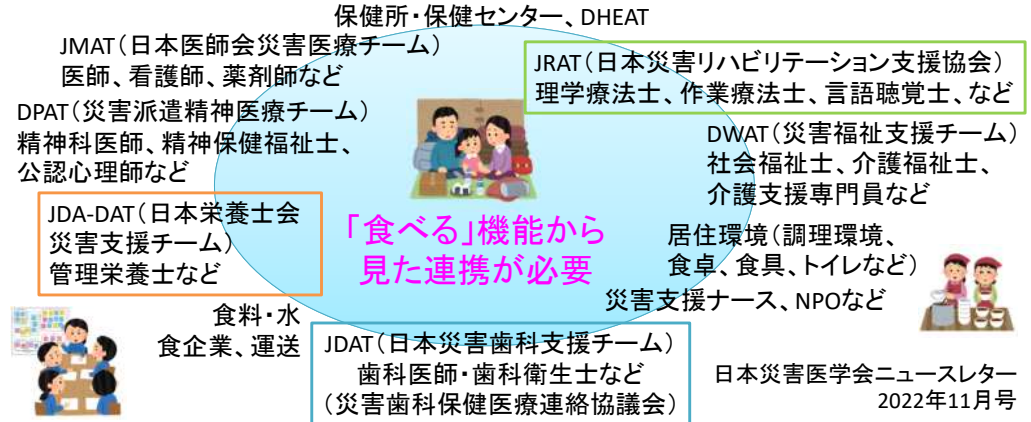
アセスメント項目	(1) 食事をする時の問題	(2) 歯みがきの環境問題	(3) 歯みがきをする問題	(4) 歯や口の清掃問題	(5) 歯科治療の必要性	(6) 歯科治療の確保問題
内容	歯が痛い・食べにくい・食事のムセ	歯ブラシ・ケア・義歯用品・水や場所の確保	歯みがきができない・介助磨きがされている	口渇・口臭・舌、口の中の汚れ	痛み・義歯紛失等に対する歯科治療の必要性	近隣の歯科診療所、交通手段、移動の可否など



© パブリックドメインQ: 著作権フリー画像素材集

災害時要配慮者に対する “「食べる」支援”の transdisciplinary approach

- 特にフレイル予防、誤嚥性肺炎予防には、被災直後からの“「食べる」支援”が重要
- それぞれの“「食べる」支援”が連携して補いあって、はじめて、安全かつ適切に栄養を確保する



日本災害医学会ニュースレター
2022年11月号

災害時「食べる」連携研修 D-EATs Trial 20231014 試行コース2025 プログラム

05 演習 災害食の準備

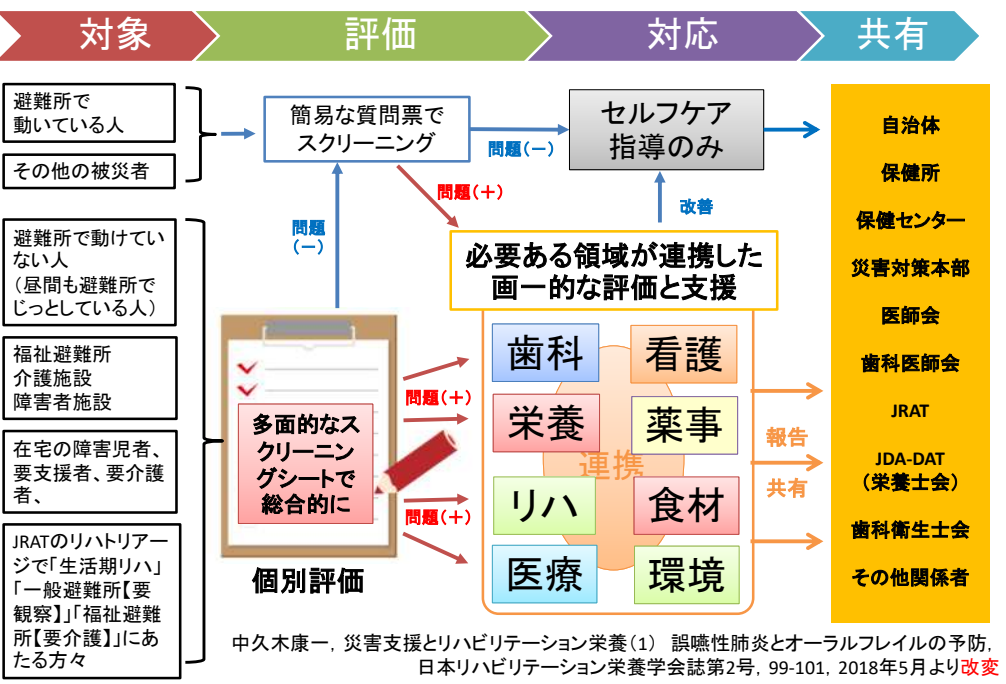
06 歯科における災害支援／
歯科からみた「食べる」評価

09 災害時の「食べる」の多面的
評価と連携(演習)

12「食べる」の備蓄とBCP

	受付
講義1	研修の目的・意義
講義2	わが国の災害保健医療体制
講義3	災害時活動の原則 (GSCA)
講義4	災害時の栄養問題と続発症
	休憩
講義5 演習	災害食演習(準備)
講義6 演習	歯科からみた「食べる」評価/災害支援
講義7 演習	栄養からみた「食べる」評価/災害支援
	昼食(災害食演習(実食))
演習	災害食演習(実食) まとめ
講義8 演習	リハビリテーションからみた「食べる」評価/災害支援
講義9 演習	災害時の「食べる」の多面的評価と連携(演習)
	休憩
講義10	在宅・施設・地域における対人対応に必要な連携
講義11	被災者の心理や対応、背景
講義12	「食べる」の備蓄とBCP
総合質疑	総合質疑・討論 試験説明・試験 試験解答・解説確認
講義13	地域で多職種が連携して取り組む必要性と仕組みづくり
講義14	災害時の多職種多組織での情報共有
	修了式、写真撮影

多職種での「食べる」支援における個人アセスメントと情報共有



中久木康一, 災害支援とリハビリテーション栄養(1) 誤嚥性肺炎とオーラルフレイルの予防, 日本リハビリテーション栄養学会誌第2号, 99-101, 2018年5月より改変

あらゆる町に住む方々の生活を支えるインフラとなる。これがゲンキーの使命です。



経営理念

われわれは、熱意を持って日本国の国家と国民に信頼されるチェーンストアを創り、地域の人々の生活向上に貢献します。

六精神

- 一、商業を通じ、健康・文化・生活向上に寄与貢献する。
- 一、お客さまの立場に立って、正しい商いを続ける。
- 一、働く仲間は、和をもって親しくする。
- 一、日々力を尽くし、心の充実を得る。
- 一、やさしさと礼節ある行動を尊ぶ。
- 一、感謝の心であらゆる恩に報いる。



2024/1/11

元日はゲンキー全店にとって、1年で唯一の休業日。石川県輪島市中心部にある河井店の店長（当時）、長屋俊樹さん（38）は実家のある岐阜県関市に帰省せず、輪島の自宅で静かな正月を過ごしていた。大きな揺れで5階にある部屋の中はぐちゃぐちゃになり、1階駐車場の車は建物に挟まって動かなくなった。

大津波警報を受けて高り、建物内は危険なためや食料品、紙おむつなど本社との連絡は途絶える。何もせずにはいられ

「命に直結、

元日夜、ドラッグストア長の長屋俊樹さん（38）落ちた商品で床が埋められた」

すぐに商品を運び出しは輪島中学校で一晩を明す長屋さんだが、店が本翌2日朝、複数の従業員片付けた。「取り扱うのこういう時にこそ、やら停電でレジが使えず、に行けば、次々に押し寄これは100円、こっちはした。2日に営業した輪が外まで続いた。カッ

停電でレジが使えず、正確な値段が分からない。その都度商品棚に値札を確認しに行けば、次々に押し寄せる客を寒空の下で待たせることになる。感覚を頼りに「これは100円、こっちは200円という具合で、お客さんに損させない値段」で販売した。2日に営業した輪島市内のドラッグストアはゲンキーだけで、3日は長蛇の列が外まで続いた。

避難者であふれ返り、避難者に配る水があるのを知ってい



能登半島地震直後の1月2日から営業を再開させたゲンキー河井店の長屋俊樹店長=石川県輪島市のゲンキー河井店で

北陸発

天井崩落、従業員はガラスを割って店内に 奥能登のゲンキー全店が震災翌日に営業できた理由

中日新聞 2024年3月9日 05時05分 (3月9日 12時00分更新)

奥能登ブロック長兼河井店の長屋俊樹店長(38)

元日が休業で店内に誰もいなかったのは、不幸中の幸いで365分の1の奇跡。輪島市内の自宅で被災し、2日昼ごろに店を開けたが、今思えば元日の夜から営業すればよかった。どの店にも共通しているのは、住民も自分たちと同じように被災しているのだから「こういう時にこそ」との使命感で店を開けてくれたこと

生活必需品を求める地元住民らで長蛇の列を作ったゲンキー河井店=1月3日、輪島市河井町で

野々江店の市川智貴店長(22)

輪島市町野町の実家で被災し避難所生活を送っていた。上司との電話で2日から営業していると知り、「マジか、うそやろう」と思った。正直に「しんどい」と伝えたが、4日夕方に店に行った。自分が店に着いた時ですら、洗剤の粉や酒の缶が床に散乱した状態だった



能登半島地震で大半の商業施設が臨時休業を余儀なくされる中、1月2日から予定通り営業した店があった。中部地方を中心に413店舗を展開するドラッグストア「ゲンキー」（本社・福井県坂井市）。それも奥能登4市町にある6店すべて。停電、断水、通信不通。何よりも従業員自身が被災者だった。あの時、従業員はどう動いたのか。

地震翌日から営業した奥能登のゲンキー6店

門前店の駒谷祥太店長(27)

元日に富山市の祖母宅に帰省中、テレビを見ていた家族から「これ、あなたの所じゃないの」と言われて被害を知った。2日から営業するため車で店に向かったが、石川県七尾市からは橋が崩れるなど「別世界」。迂回（うかい）せざるを得ずガソリンとの勝負だった



停電したドラッグストアで商品をライトで照らしながら選ぶ買い物客。レジが動かないので紙で購入品と金額をメモして、現金で支払っていた。店内には棚から落ちたままの品物もあった=1月4日、能登町のゲンキー内浦店で

「日常生活の支え」届く感謝の声

2日に営業したのは河井店だけではない。門前店の駒谷祥太店長（27）は、富山市の祖母宅に帰省中に地震に遭った。10人ほどの従業員の安否を確認し、すぐに約100キロ離れた店に車を走らせた。道路はあちこちで寸断され、迂回（うかい）しながら店に着いたのは日付が変わった午前2時ごろ。商品が散乱していたものの、パソコンは起動し、冷蔵庫と冷凍庫も動いていた。本社からの応援を得て開店にこぎ着けた。

3日からは午前9時～午後9時の通常営業を開始。地震直後は食料品などが購入できる地域で数少ない店だったため、駒谷さんは多くの客から「助かった」との声を聞いた。「店が地域の日常生活の支えになっている」と実感した。

野々江店（珠洲市）では、近くに住むアルバイトの女性が2日朝、非常口のガラスをハンマーで割って店に入った。天井が崩落して入り口がふさがっていたからだ。女性1人で店を開け、午後にはさらに数人のアルバイトが加わった。

本当に『最強』なのは被災地に踏みとどまり、震災直後から地域貢献し続けてくれた全ての社員、従業員です

5日ごろには物流も再開し、弁当なども棚に戻ったゲンキー。奥能登6店のブロック長を務めた長屋さんは、あの時を振り返って胸を張る。「本当に『最強』なのは被災地に踏みとどまり、震災直後から地域貢献し続けてくれた全ての社員、従業員です」

（山口哲人、佐久間博康、立石智保）

野町に、いしはあか

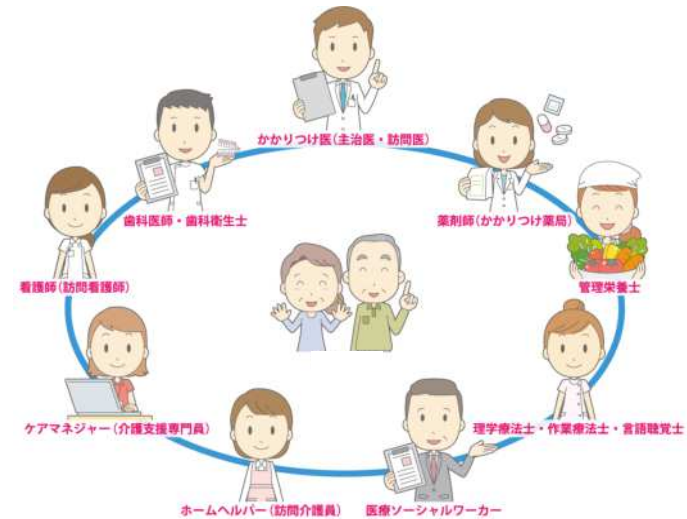
BCP 歯科診療所が守るべきものとは NHK

- 従業員の命と安全**
 - ✓ 従業員の安全確保「安全配慮義務」
 - ※従業員がいなければ事業継続難しい
 - スタッフ(とその家族を含む生活環境)を守る
- 歯科診療所の重要業務**
 - ✓ 歯科を通じて地域住民の健康を守ること
 - ✓ 災害時要配慮者の口腔健康管理
 - ✓ 業界団体(歯科医師会など)での相互支援
- 地域への協力・貢献**
 - ✓ 診療所の早期再開・口腔衛生用品の提供
 - ✓ 避難所・福祉避難所・施設などへの訪問歯科保健活動

NHK 災害の備え 災害 その時どうする 2023.02.24
BCPとは…あなたの企業は？どうやって作る？

直後から迅速な支援を継続的に行うためには？

→ 災害時にも機能を継続できる地域NST



中部地区医師会 在宅い丸センター (在宅医療・介護連携推進事業)

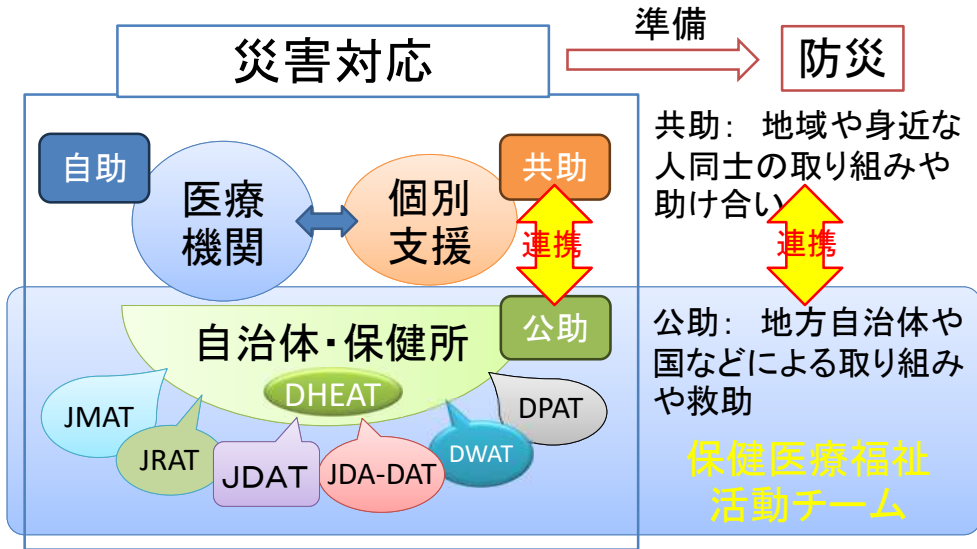


歯科保健医療における時間経過ごとの問題点と活動

保健医療活動におけるフェーズ	0 初動体制の確立	1 緊急対策	2 応急対策 (避難所対策中心)	3 応急対策 (仮設住宅入居まで)
時期(目安)	発災～24時間	24～72時間以内	4日目～1・2か月?	1・2か月?～
歯科的 問題点	<ul style="list-style-type: none"> ●口腔衛生用品の不足 ●うがい水と洗面所の不足 ●口腔衛生状態の悪化 ●義歯の清掃不良 	<ul style="list-style-type: none"> ●口腔衛生用品の不足 ●うがい水と洗面所の不足 ●口腔衛生状態の悪化 ●義歯の清掃不良 	<ul style="list-style-type: none"> ●口腔衛生用品の不足 ●うがい水と洗面所の不足 ●口腔衛生状態の悪化 ●義歯の清掃不良 	
	<ul style="list-style-type: none"> ●口腔領域の外傷 	<ul style="list-style-type: none"> ●口腔領域の外傷 	<ul style="list-style-type: none"> ●義歯不適合・義歯性潰瘍 ●歯肉炎や粘膜炎 ●口腔の乾燥 	<ul style="list-style-type: none"> ●食べる機能の低下
	<p>疾患・状態</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●義歯紛失・破損 ●歯肉炎や粘膜炎 ●口腔の乾燥 	<ul style="list-style-type: none"> ●義歯不適合・義歯性潰瘍 ●歯肉炎や粘膜炎 ●口腔の乾燥 	<ul style="list-style-type: none"> ●食べる機能の低下
歯科保健 医療活動	<ul style="list-style-type: none"> ●口腔衛生用品の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ●口腔衛生用品の提供、説明 ●口腔清掃の環境整備 	<ul style="list-style-type: none"> ●口腔衛生用品の提供、説明 ●口腔清掃の環境整備 	
	<p>物資・環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●口腔ケアの啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ●口腔ケアの啓発 ●口腔機能の向上訓練 ●歯科健康相談、指導 ●食形態の確認・支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●口腔ケアの啓発 ●口腔機能の向上訓練 ●歯科健康相談、指導
	<p>疾患・状態</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●口腔ケアの啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ●口腔ケアの啓発 ●口腔機能の向上訓練 ●歯科健康相談、指導 ●食形態の確認・支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●口腔ケアの啓発 ●口腔機能の向上訓練 ●歯科健康相談、指導
	<ul style="list-style-type: none"> ●(●)応急歯科診療 	<ul style="list-style-type: none"> ●応急歯科診療 ●口腔ケア 	<ul style="list-style-type: none"> ●応急歯科診療 ●口腔ケア 	<ul style="list-style-type: none"> ●応急歯科診療の支援 ●口腔ケアの支援

歯科の新常識「災害時の歯科活動」, LION Dent.File vol.57, 2025May より改変
日本災害時公衆衛生歯科研究会HPに転載許可を得て転載 <https://jsdphd.umin.jp/forcitizens.html>

災害保健医療支援における関係者



お近くの方々にもお伝えください。配布等に承諾は不要です。

いつもの生活を取りもどす！

熊本地震で被災された皆さまへ
いつもの生活を取りもどすための役立つ情報まとめ

政府からのお知らせ
2016年4月28日発行
2016年5月12日更新
2016年5月18日更新

いつもの生活を取りもどす！

いつもの生活を続けられる準備をしよう！

災害の「備え」チェックリスト

首相官邸 Prime Minister's Office of Japan

非常用持ち出し袋 避難の際に持ち出すもの！

- 水
- 食品 (ご飯 [アルファ米など]、レトルト食品、ビスケット、チョコ、乾パンなど:最低3日分の用意)
- 防災用ヘルメット・防災ずきん
- 衣類・下着
- レインウェア
- 紐なしのズック靴
- 懐中電灯 (※手動充電式が便利)
- 軍手
- 洗面用具
- 歯ブラシ・歯磨き粉
- タオル
- ペン・ノート
- マスク
- 手指消毒用アルコール

高齢者がいる家庭の備え

- 大人用紙パンツ
- 杖
- 補聴器
- 入れ歯
- 入れ歯用洗浄剤
- 男性用吸水パッド
- デリケートゾーンの洗浄剤
- 持病の薬
- お薬手帳のコピー

ほかにも、家庭で必要なものは日ごろから備えておきましょう

- 歯ブラシ→やわらかめ
- 歯間ブラシ
- デンタルフロス→糸ようじ
- 義歯用ケース→食品保存密封容器
- 液体ハミガキ (5年保存・1回分)

水が不要な口腔ケア用品

非常用

うがいの不要な歯みがき剤

- 液体
- ジェル
- フォーム

少ない水での入れ歯のケア

+ 洗面所

歯科医師とは セミナー 各種資料等

HOME 会長あいさつ ENGLISH キーワード検索

HOME > 歯科医師のみなさま > 災害歯科保健医療対策

○ 災害歯科保健医療対策

▼ JDAT（日本災害歯科支援チーム）	▼ JDATロゴマーク
▼ 災害歯科保健医療eラーニング	▼ JDAT標準研修会
▼ JDATアドバンス研修会	▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会
▼ 日本歯科医師会の災害対策	▼ 計画・規程等
▼ 災害時の歯科保健医療、身元確認に関する根拠法等	▼ 都道府県歯科医師会が締結している協定等
▼ アクションカード・アセスメント票	▼ 避難所掲示・配布用がスター等
▼ これまでの災害対応<時系列>	▼ 災害歯科コーディネーター研修会
▼ 災害歯科保健医療・身元確認関連書籍	▼ 日歯HP 関連情報

● JDAT（日本災害歯科支援チーム）

JDAT（Japan Dental Alliance Team：日本災害歯科支援チーム）は、災害発生後おおむね72時間以降に地域歯科保健医療専門職により行われる、避難所等における応急歯科医療や口腔衛生を中心とした公衆衛生活動を支援することを通じて被災者の健康を守り、地域歯科医療の復旧を支援すること等を目的として、令和4年（2022年）3月7日（日本災害歯科保健医療連絡協議会が創設）により、

活動要領・研修会・e-learning
行動指針・規則
根拠法・協定
共通書式・アクションカード
参考資料・過去の情報
関連情報

全国の歯医者さん検索

テーマパーク8020

日歯8020（ハチマルニイマル）テレビ

歯のみがき方を探そう！

よ坊さん

歯8020テレビ

歯とお口の情報

動画で一般向けに平易につくられています（それぞれ6分ほど）
過去に災害時に地元ケーブルTVで放映されたこともあります

災害時こそ大切！
お口のケア

<1>備えておくこと
<2>自分でできること

災害時こそ大切！お口のケア

ダウンロード 5:08
1.5MB (124MB) <1>備えておくこと (60.0MB)

ダウンロード 5:38
1.5MB (124MB) <2>自分でできること (67.2MB)



厚生労働省補助金 災害医療チーム等養成支援事業 研修会（2025年度現在）赤字は2024年度から

JDATロジスティクス研修会（計画中）

- 各構成団体におけるJDAT事務局が主な対象
- 2024年度にはロジスティクス基礎研修会をオンライン開催

JDATアドバンス研修会（2020年度～）

- 対象は各構成団体よりの推薦者
- 東京にて年3回（地域別）、実地
- 事前動画・事前課題あり、当日は意見交換が主体

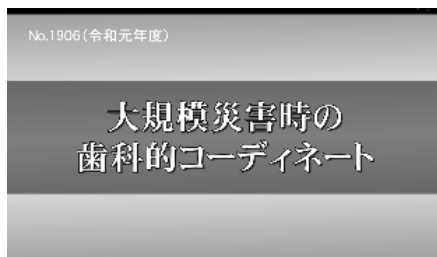
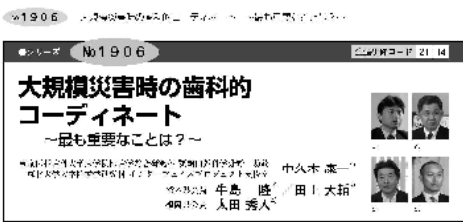
JDAT標準研修会（2018年度～（旧：体制研修会））

- eラーニング（標準編1時間）による事前研修あり
- 基本は地域開催（主催：各構成団体及び傘下団体）、対象は主催者で設定可
- 日本歯科医師会開催はオンラインにて年1回、対象は各構成団体の推薦者

JDAT基礎研修会（2024年度～）

- eラーニングのみ（基礎編2時間30分）
- どなたでも、いつでも、もちろん無料！
- PDFにて修了証発行

<https://www.jda.or.jp/dentist/disaster/>



日歯会員の方は無料で受講できるはず
ぜひ、スタッフとともに、
ご視聴ください

日歯Eシステム
生涯研修ライブラリー

はじめに

◆日本歯科医師会、平成28年地域医療連携推進委員会（日歯医連）

災害時の歯科保健医療対策、災害時の応急処置、被災者の健康を守るための取り組み、被災者の健康を守るための取り組み、被災者の健康を守るための取り組み

災害歯科支援活動 コーディネーター間の役割分担と連携

図1 災害歯科支援活動 コーディネーター間の役割分担と連携

○ 災害歯科保健医療対策

▼ JDAT (日本災害歯科支援チーム)	▼ JDATロゴマーク	災害歯科保健医療対策
▼ 災害歯科保健医療eラーニング	▼ JDAT標準研修会	災害歯科保健医療対策
▼ JDATアドバンス研修会	▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会	

● 災害歯科保健医療eラーニング

基礎編の受講・研修登録はこちらから

標準編の受講・研修登録はこちらから
※基礎編修了後の受講を推奨します

📄 [研修受講に当たっての注意事項 \(基礎編\)](#) 📄 [研修受講に当たっての注意事項 \(標準編\)](#)

※必ず注意事項及び下記実施要領を読んだから研修登録を行うこと。
※基礎編と標準編の両方を受講する場合はそれぞれ研修登録が必要となる。

約2時間30分

約60分

<https://www.jda.or.jp/dentist/disaster/>

共通書式
マニュアル
ポスター

災害時、私たちにできること



被災者の口腔保健と健康増進を支援します

避難生活では口腔保健が難しくなります。口腔保健の知識やスキルを身につけて、被災者の口腔保健を支援します。

共通書式なども
まとめたマニュアル

Link [災害歯科保健衛生士登録](#)

被災状況に合わせて歯科衛生士の支援活動を円滑に行うための実践マニュアルです。基本姿勢や平時の備え、現場での具体的な行動手順などをまとめました。

PDF [災害歯科保健活動
歯科衛生士実践マニュアル2021](#)

マスクをしたままでできる お口の体操

～ 唇や舌、頬やのどの筋力アップをすることは全身の健康へとつながります。
美味しく安全に食べて健康に過ごしましょう ～

①唇をとがらせて前に突き出す

②左右にしっかりと引く

③大きく開ける

唇を閉じ、唇の内側で舌をぐるぐる回す

①頬をふくらませます

②頬をへこませます

③左右交互に頬をふくらませます

④唇をしっかりと閉じ上下交互に唇をふくらませます

開口訓練

- ①口を最大限に大きく開ける
- ②10秒間保持する
- ③10秒間やすむ
- ④②③を繰り返す

※顎関節症の人や、あごが外れやすい人は、注意して行いましょう

前舌保持嚥下訓練

(4回ほど繰り返す)

- ①舌を少し前に出し、唇を閉じる(舌を強く咬みすぎないように注意し、まじまじと)
- ②そのまま、つばをコックンと飲み込む

※舌上唇にできるよじれたら(コックン→ツバ)と、飲み込む途中で黙って待ってきましょう

空気を漏らさないようにするのがポイントです!

食前や空き時間に5回～10回行いましょう

マスクをしたままでできるお口の体操(動画)

「マスクをしたままでできるお口の体操」

今日を愛する。
LION

災害時の清潔&健康ケア PDFファイル

災害時の手の清潔、オーラルケアについてわかりやすくご利用下さい。

災害時の清潔・健康ケア

災害時は、避難所生活や水不足など、生活していく上で衛生上のリスクが高まるため、体を清潔に保ち、健康に留意することが重要です。体力のないお子様や高齢の方は特に注意が必要です。

災害時の手の清潔

多くの人が入り出る避難所などでは、いつもより手が汚れがちです。手を清潔に保ちましょう。

災害時のオーラルケア

災害時は、避難所生活や水不足など、生活していく上で衛生上のリスクが高まるため、体を清潔に保ち、健康に留意することが重要です。体力のないお子様や高齢の方は特に注意が必要です。

災害時の清潔・健康ケア

災害時は、避難所生活や水不足など、生活していく上で衛生上のリスクが高まるため、体を清潔に保ち、健康に留意することが重要です。体力のないお子様や高齢の方は特に注意が必要です。

災害時の手の清潔

多くの人が入り出る避難所などでは、いつもより手が汚れがちです。手を清潔に保ちましょう。

災害時のオーラルケア

災害時は、避難所生活や水不足など、生活していく上で衛生上のリスクが高まるため、体を清潔に保ち、健康に留意することが重要です。体力のないお子様や高齢の方は特に注意が必要です。

災害時の清潔・健康ケア

災害時は、避難所生活や水不足など、生活していく上で衛生上のリスクが高まるため、体を清潔に保ち、健康に留意することが重要です。体力のないお子様や高齢の方は特に注意が必要です。

災害時の手の清潔

多くの人が入り出る避難所などでは、いつもより手が汚れがちです。手を清潔に保ちましょう。

指が残りやすいところ

①手のひらを上にして洗います

②シートをしっかりと拭き取ります

③指の隙間から指先にかけて丁寧に洗います

④その他の指も指先に向けて丁寧に洗います

水で手洗いできないときの手指のケア方法

ぬれティッシュやお手拭きシートを使って、手指をキレイに保ちましょう。

災害時のオーラルケア

オーラルケアが不十分だと、ムシ歯や歯周病、感染症や誤嚥性肺炎などのリスクが高まります。

🍷 **ハブラシがないとき** 食べものを口に残さないことがポイント。

🍷 **ハブラシがあるとき** 水が不足している場合、ハブラシが濡れず乾かして使えます。

🍷 **お子様が気がつけにくいこと** お子様と顔を合わせる機会が減少しがちな中で、ムシ歯や歯周病のリスクが高まります。

🍷 **入れ歯をお使いの方は** 入れ歯の清掃は、歯磨きと同じくらい大切です。入れ歯の清掃は、歯磨きと同じくらい大切です。

🍷 **よくかんで食べる** 歯で噛み砕かずに飲み込むと、口の汚れが残りやすくなります。

🍷 **舌を使って歯を掃除!** 舌で歯の隙間に汚れを押し出すことで、歯垢の付着を防ぎます。

🍷 **食後に水やお茶を飲む** 食後の口内を水やお茶で洗い流すことで、歯垢の付着を防ぎます。

🍷 **お子様が気がつけにくいこと** お子様と顔を合わせる機会が減少しがちな中で、ムシ歯や歯周病のリスクが高まります。

🍷 **入れ歯をお使いの方は** 入れ歯の清掃は、歯磨きと同じくらい大切です。入れ歯の清掃は、歯磨きと同じくらい大切です。

ライオン株式会社 | 1111-0004 | 東京都港区新橋2-1-1

<https://www.lion.co.jp/ja/emergency-care/download.php>

避難生活が招く「震災関連死リスク」を減らす「口腔ケア」とは？【歯科医が解説】

真島加代：清談社
 連載 ニューズ3選
 2024.11.28 4:00



写真はイメージです Photo:PIXTA

能登半島地震発生から11か月がたった。この間も、能登半島は水害に見舞われるなど自然の脅威にさらされ、多くの人々が不安な日々を過ごしている。災害によって家を失くした人々が身を寄せる避難所では、さまざまな物資が不足し、行動を制限された日々を送らなければならない。しかし、罹災状況のなかでも「口腔（こうくう）内のケア」を怠ると、その後の生活に暗い影を落とすリスクがあるという。（清談社 真島加代）

被災地での水不足が健康リスクを高める

避難生活が招く「震災関連死リスク」を減らす「口腔ケア」とは？【歯科医が解説】
 ダイヤモンド・オンライン 2024.11.28 <https://diamond.jp/articles/-/353929>

被災地での水不足が健康リスクを高める

避難所での生活がフレイル(虚弱)を加速させる

被災時にも活躍するオーラルケア用品



非常用持ち出し袋に入れておきたい オーラルケアグッズ

基本セット

- 歯ブラシ**：歯ブラシを複数持っている避難所では多く使われます。お口のケアには歯ブラシが最も効果的ですので、必ずお持ちください。
- 歯間ブラシ・フロス**：歯間ブラシは、歯と歯の間の歯垢を取り除くのに効果的です。フロスは、歯と歯の間の歯垢を取り除くのに効果的です。
- 液体ハミガキ**：歯垢を落とすのに効果的です。お口のケアには歯垢を取り除くのに効果的です。
- 口腔ケア用のウェットティッシュ**：お口のケアには歯垢を取り除くのに効果的です。
- 入れ歯ケースや歯用用品**：入れ歯のケアには、入れ歯の洗浄シートや入れ歯用ブラシ、入れ歯ケース、入れ歯洗浄剤が効果的です。

歯科の災害保健医療支援

大規模災害が起こったとき、被災地で保健医療支援活動を行うのは、歯科の専門家だけではありません。歯科医も、歯と口腔の面から被災者の方たちの健康を支えています。一般にはあまり知られていない、歯科の災害時の保健医療支援活動について、日本歯科大学東京衛生学部の災害歯科コーディネーターを務めた先生にお話をいただきました。

東京歯科大学 災害歯科コーディネーター
 東京歯科大学 災害歯科コーディネーター
 中久木 康一 先生

医学界新聞

能登半島地震による被災者の口腔への影響と、地域で連携した「食べる」支援の継続

著者 中久木 康一、長谷 剛志
 2025.04.08 医学界新聞：第3572号より

口腔健康/機能管理

清潔を保って 疾病予防！

しっかり噛んで 飲み込める！

口腔ケア 歯科治療 口腔体操

口腔内細菌 増殖予防
 歯科疾患の予防
 口腔内の感染症の予防

唾液分泌量/筋力維持
 適切な咀嚼/摂食/嚥下機能維持
 (適切な栄養摂取可能な状態)

肺炎/続発症予防・適切な栄養摂取

口渇

年	患者数 (人)
2022	13
2023	11
2024	64

口内炎

年	患者数 (人)
2022	15
2023	11
2024	29

図1 災害時の口腔健康管理/口腔機能管理
 図2 能登半島地震後に増加した口腔の主訴 公立能登総合病院歯科口腔外科における1月1日～2月29日の2か月間の受診数。

歯科の新常識 vol.07

災害時の歯科活動

もし明日、災害が起きたら？
 歯科医療従事者に求められる役割とは

図1 災害時の歯科活動

図2 災害時の歯科活動

図3 災害時の歯科活動

図4 災害時の歯科活動

図5 災害時の歯科活動

図6 災害時の歯科活動

図7 災害時の歯科活動

図8 災害時の歯科活動

図9 災害時の歯科活動

図10 災害時の歯科活動

中久木 康一 先生

